Actiphy Rapid Deploy

セットアップガイド

第 1 版 2025 年 1 月

Actiphy

目次

1. はじめに 3
   1-1. システム要件 3
   1-2. 製品構成 3
2. インストール 4
   2-1. ImageCast Server のインストール 4
   2-2. Deploy Media Creator のンストール 6
3. ライセンスの登録 8
4. デプロイ用メディアの作成 10
5. ImageCast クライアント メディアの作成 17
6. マスターイメージの取得 22
7. マスターイメージのデプロイ 24
   7-1. Actiphy Rapid Deploy のデプロイ方式 24
   7-2. ネットワークブートを利用したデプロイ 25
   7-3. クライアント用ブートメディアを使用したデプロイ 32
   7-4. デプロイ用 USB メディアを使用したデプロイ 37
8. 復元用メディアの作成 39
   8-1. 復元用 USB メディアの作成 39
   8-2. 復元用光学ディスクの作成 43
   8-3. 復元用メディアからの復元 47
9. 運用管理 49
   9-1. ライセンスの追加 49
   9-2. マスターイメージの保管 52
   9-3. マスターイメージの差し替え 53
   9-4. 複数のデプロイ USB メディアの作成 57
10. 参考情報 59

1. はじめに

Actiphy Rapid Deploy は、旧製品の ActiveImage Deploy USB の後継製品として、ネットワーク経由でのマスターイメージのデプロイ（展開）に対応した、システムインテグレーター、VAR / OEM 向けのキッティングソリューションです。

1-1. システム要件

導入先のコンピューターが、Actiphy Rapid Deploy のシステム要件を満たしていることを、以下から確認してください。
https://www.actiphy.com/ja-jp/product/actiphy-rapid-deploy/#system-requirements

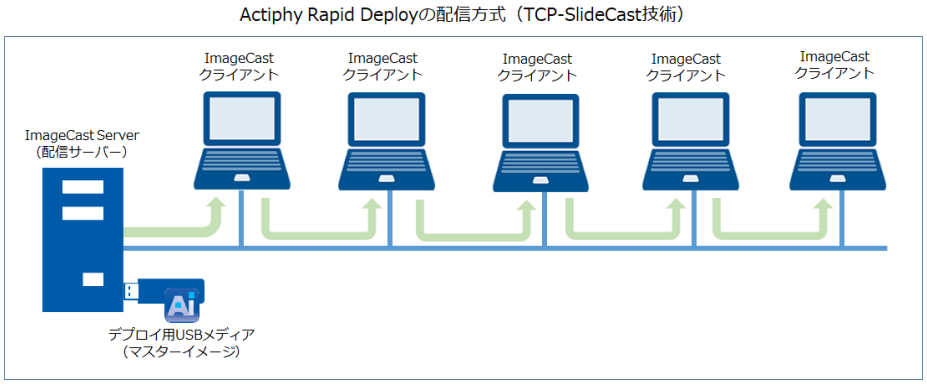
1-2. 製品構成

Actiphy Rapid Deploy は、メディア作成ツールの Deploy Media Creator（旧製品の ActiveImage Deploy USB をベースに改良）と新しく開発した配信サーバーの ImageCast Server で構成されています。

・ImageCast Server
ImageCast Server は、クライアント PC にネットワーク経由でマスターイメージのデプロイ（展開）をおこなう配信サーバーです。新しく独自開発した配信方式（TCP-SlideCast*）により、簡単かつ高速にマスターイメージのデプロイをおこないます。

・Deploy Media Creator
マスターイメージ取得用のデプロイ用 USB メディアの作成、 ImageCast Server にクライアント PC から接続するためのクライアント用 USB メディア（ImageCast クライアント メディア）の作成、復元用メディアの作成、ライセンス管理などをおこないます。

＊TCP-SlideCast 方式
配信サーバーから出力された 1 台分のマスターイメージのパケットデータを、デプロイ先のクライアント PC 間で次々に中継して配信をおこないます。このためデプロイ先のクライアント PC の数が多い場合でも、配信サーバーやネットワークにかかる負荷を抑えた高速な配信を可能にしています。



2. インストール

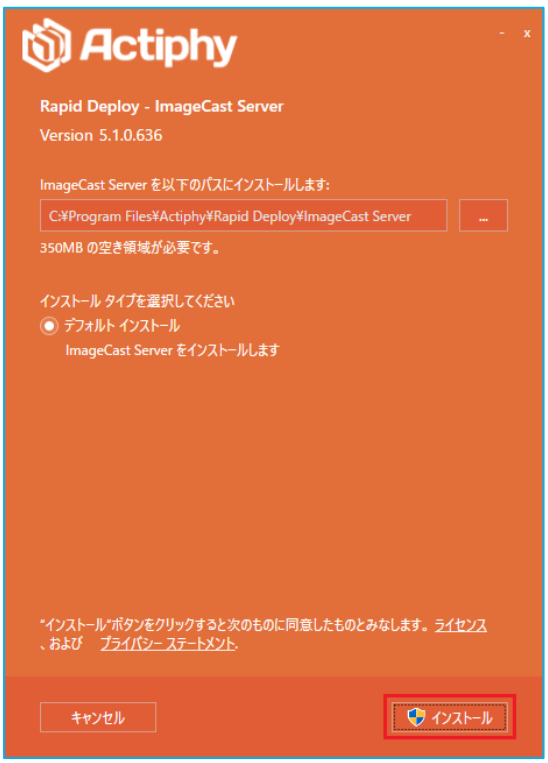
2-1. ImageCast Server のインストール

ここでは、配信サーバーImageCast Server のインストール手順を説明しています。
※ ImageCast Server の導入先コンピューターには、固定 IP アドレスを割り当てないでください。

1. Actiphy Rapid Deploy のインストーラーを起動します。
   製品メディアの場合は、メディア内の「Setup.exe」を実行、アクティファイの Web サイトからダウンロードした場合は、「RapidDeploy_vxxx_bxxx.exe」を実行します。インストーラーが起動したら[ImageCast Server]のアイコンをクリックします。



2. [インストール]をクリックすると、ImageCast Server のインストールが開始されます。



3. [インストールが完了しました]と表示されたら、ImageCast Server のインストールは完了です。
   ※ 特別な設定やシステムの再起動は不要です。



2-2. Deploy Media Creator のンストール

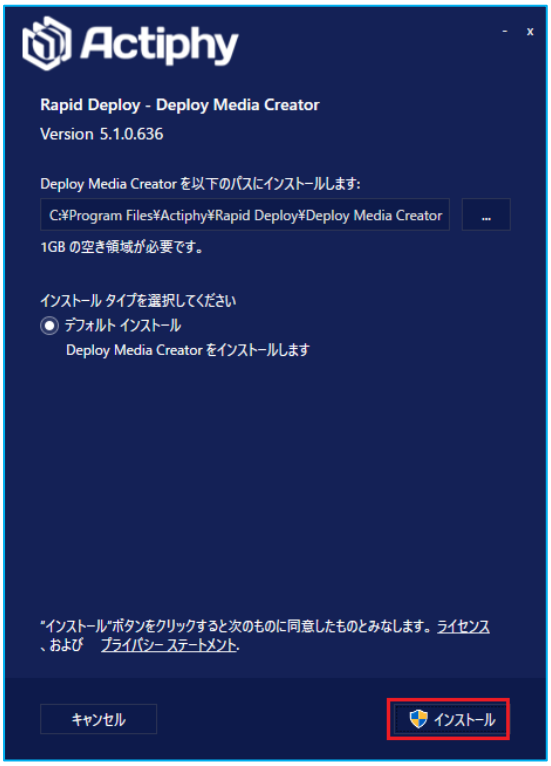
ここでは、Deploy Media Creator のインストール手順を説明しています。

※ Deploy Media Creator の導入先コンピューターは、インターネット接続が必須となります。

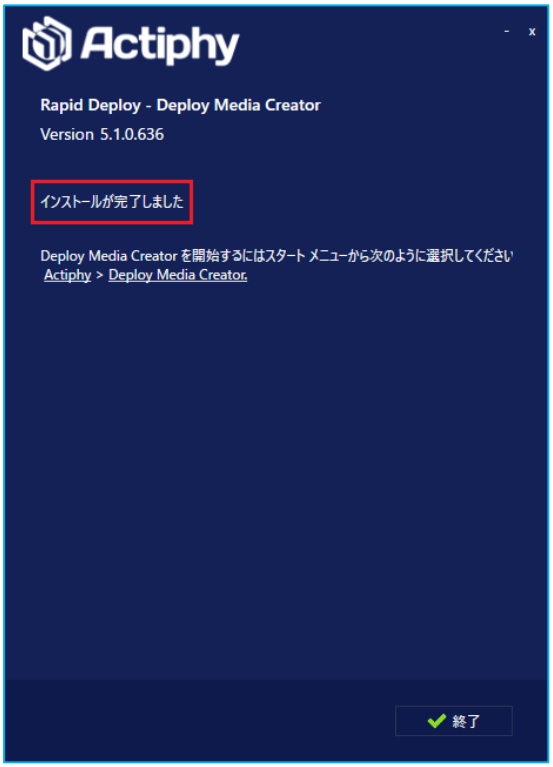
1. Actiphy Rapid Deploy のインストーラーを起動します。
   製品メディアの場合は、メディア内の「Setup.exe」を実行、アクティファイの Web サイトからダウンロードした場合は、「RapidDeploy_vxxx_bxxx.exe」を実行します。インストーラーが起動したら[Deploy Media Creator]のアイコンをクリックします。



2. [インストール]をクリックすると、Deploy Media Creator のインストールが開始されます。



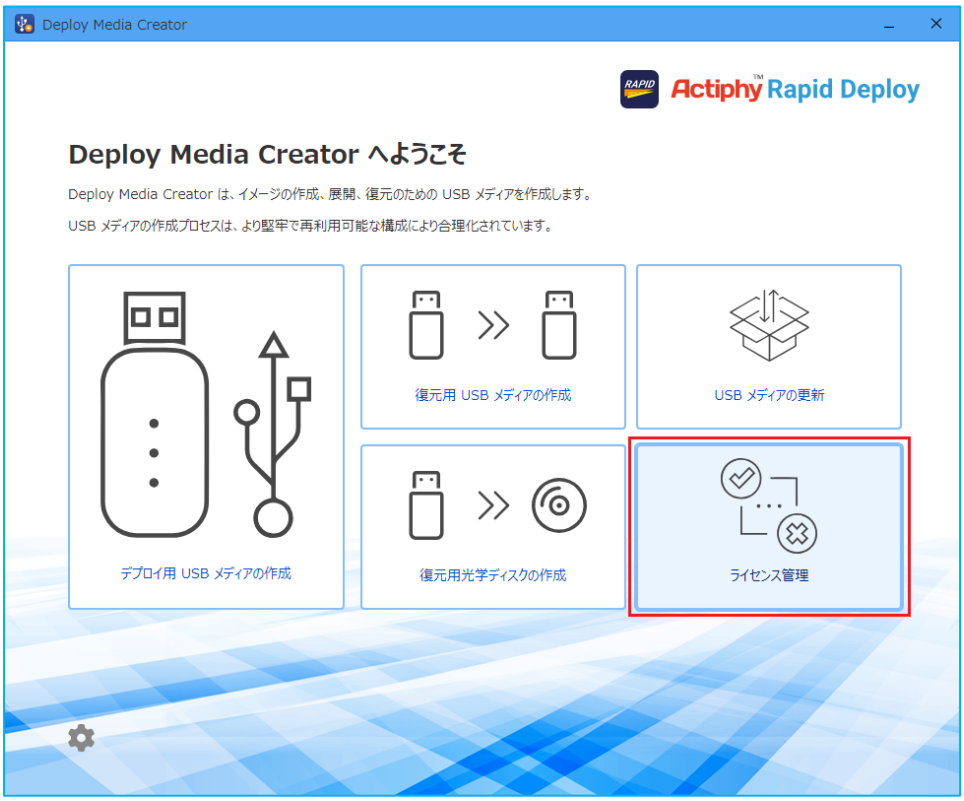
3. 「インストールが完了しました」と表示されたら、Deploy Media Creator のインストールは完了です。
   ※ システムの再起動は不要です。



3. ライセンスの登録

ここでは、作業用コンピューターにインストールした「Deploy Media Creator」から「ライセンスの登録」手順を説明しています。

1. Deploy Media Creator を起動します。
   Windows スタートメニューから[Actiphy] → [Deploy Media Creator]をクリックします。または、ディスクトップ画面上の[Deploy Media Creator]のアイコンをクリックします。Deploy Media Creator のコンソールが起動したら、[ライセンス管理]をクリックします。



2. 次に、購入した[プロダクトキー]を入力して、[このキーを登録]をクリックします。



3. プロダクトキー横の[▶]のマークをクリックすると、利用可能ライセンス数などの情報を確認できます。また、[+プロダクトキーの新規登録]から、別なプロダクトキーを追加登録することができます。

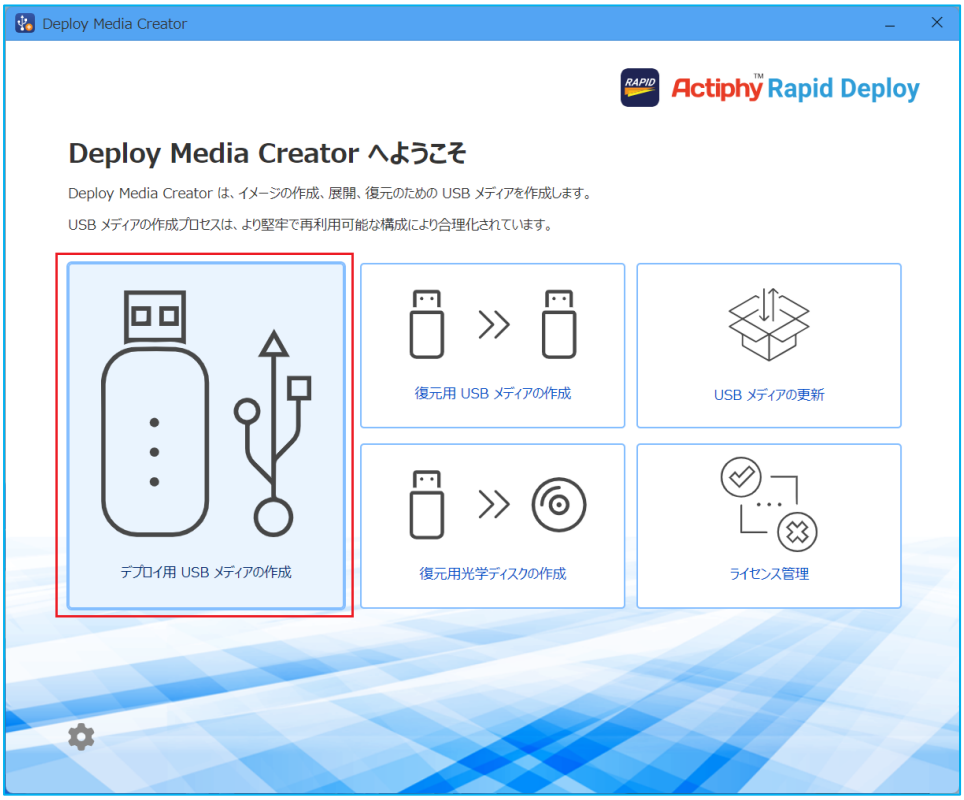


4. デプロイ用メディアの作成

「デプロイ用 USB メディア」は、デプロイ作業に使用するマスターイメージの取得に使用します。

ここでは、作業用コンピューターにインストールした「Deploy Media Creator」から「デプロイ用 USB メディア」の作成手順を説明しています。

1. Deploy Media Creator のコンソールから、[デプロイ用 USB メディアの作成]をクリックします。



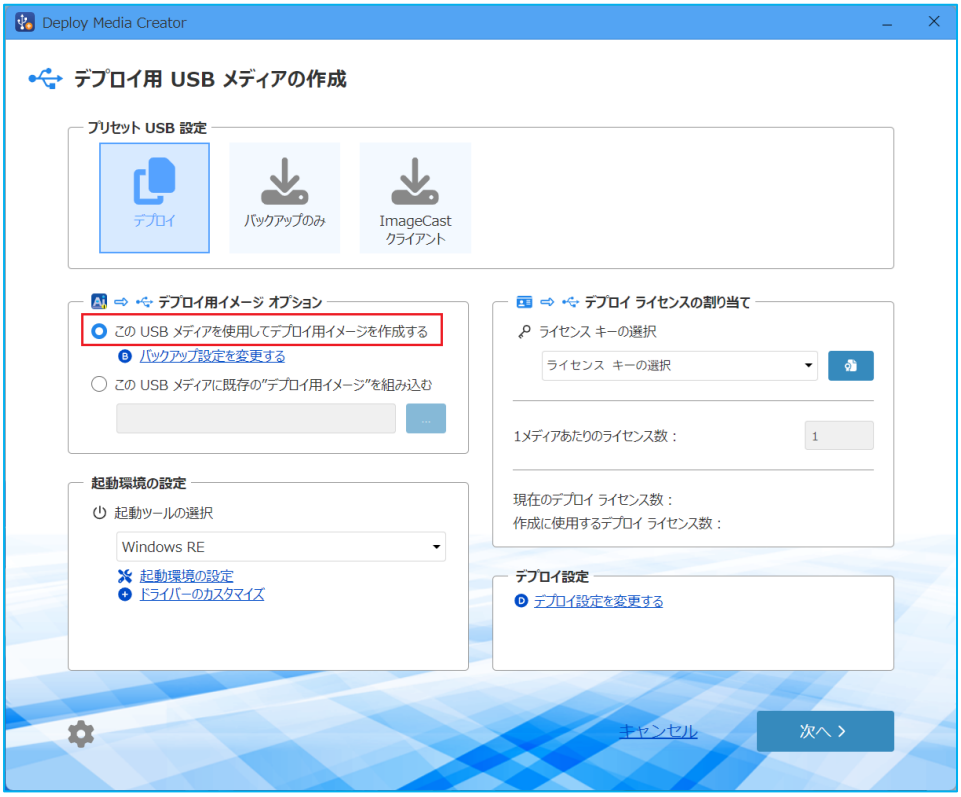
2. プリセット USB 設定

「デプロイ用 USB メディア」を作成する場合は、[デプロイ]を選択します。



3. デプロイ用イメージ オプション

[この USB メディアを使用してデプロイ用イメージを作成する]を選択します。



[バックアップ設定を変更する]では、取得するマスターイメージの圧縮や暗号化の設定をおこなえます。一般的な使用においては、特に設定の必要はありません。



4. 起動環境の設定

[起動ツールの選択]では、一般的なコンピューターであれば、Windows に標準でインストールされている[Windows RE]を選択します。Windows ADK のアドオンの Windows PE をインストールして使用する場合には、プルダウンメニューで選択することができます。



[起動環境の設定]では、言語設定をおこなうことができます。



[ドライバーのカスタマイズ]では、Deploy Media Creator をインストールした環境に存在するドライバーを選択して組み込むことができます。当該環境に存在しないドライバーについては、メーカーサイトからダウンロードしてドライバーを準備後、[ドライバー追加]より組み込むことができます。



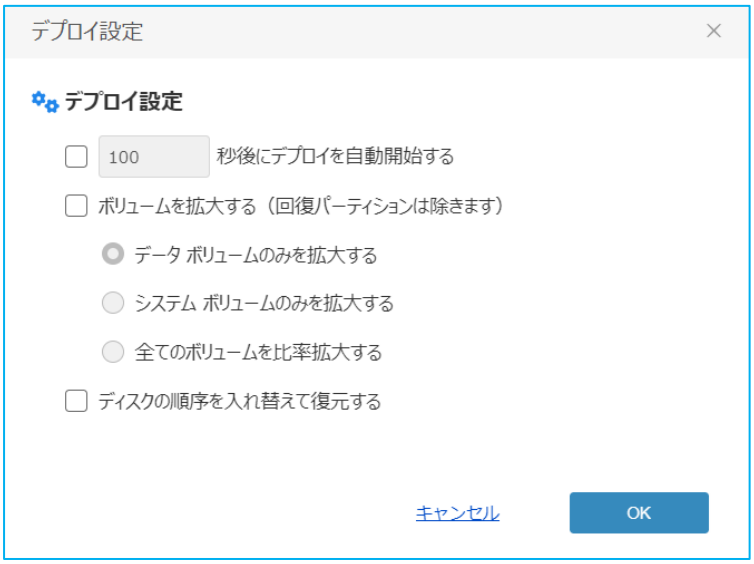
5. デプロイ ライセンスの割り当て

作成するデプロイ用 USB メディアへライセンスの割り当てをおこないます。[ライセンスキーの選択]から、プルダウンメニューで登録したプロダクトキーの中から使用するものを選択します。[1 メディアあたりのライセンス数：]から、USB メディア 1 本あたりのデプロイ台数(回数)を、所有しているライセンス数内で設定します。例えば、100 と設定した場合は 1 本あたり最大 100 台分のデプロイ作業に使用できます。



6. デプロイ設定

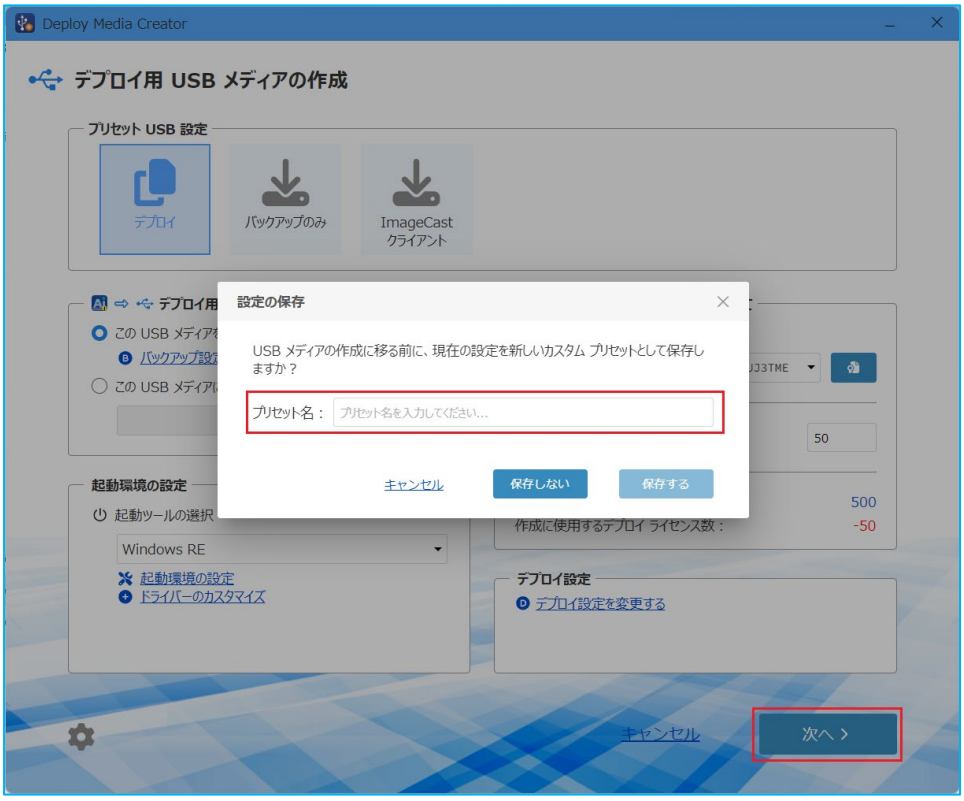
デプロイ用 USB メディアで起動後、指定秒数後のデプロイの自動実行、パーティションの拡張復元などの設定がおこなえます。例えば小さな容量の HDD/SSD でマスターイメージを作成し、実際のデプロイ先 HDD/SSD の容量が大きな場合、C ドライブのみ、D ドライブのみ、C ドライブと D ドライブを同比率で拡張復元することができます。一般的な使用においては、特に設定の必要はありません。



7. 設定の保存

   [次へ]をクリックすると、設定を保存するか確認の画面が表示されます。

   この設定をプリセットとして保存する場合は、名前を付けて[保存する]を選択します。

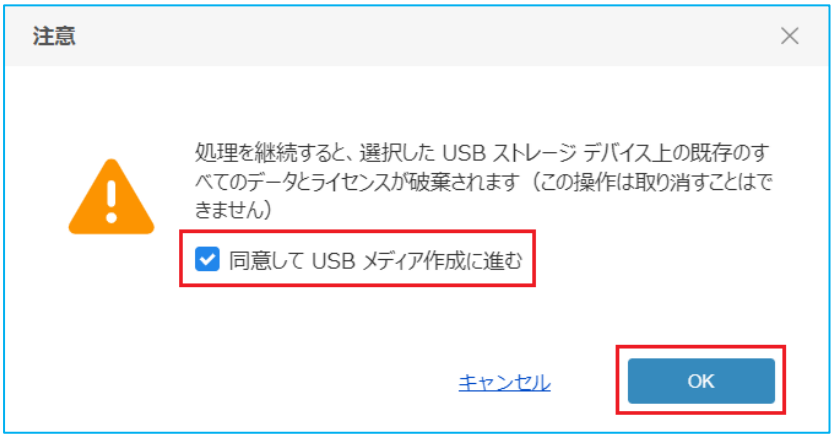


8. デプロイ用 USB メディアの作成

   作成先の USB メディアを選択して、[作成開始]をクリックすると確認画面が表示されます。



9. 確認画面では、問題がなければ[同意して USB メディア作成に進む]にチェックを入れ、[OK]をクリックすると作成が開始されます。



10. ステータスに[作成成功]と表示されたら、デプロイ用 USB メディアの作成は完了です。マスターイメージの取得作業に使用できます。



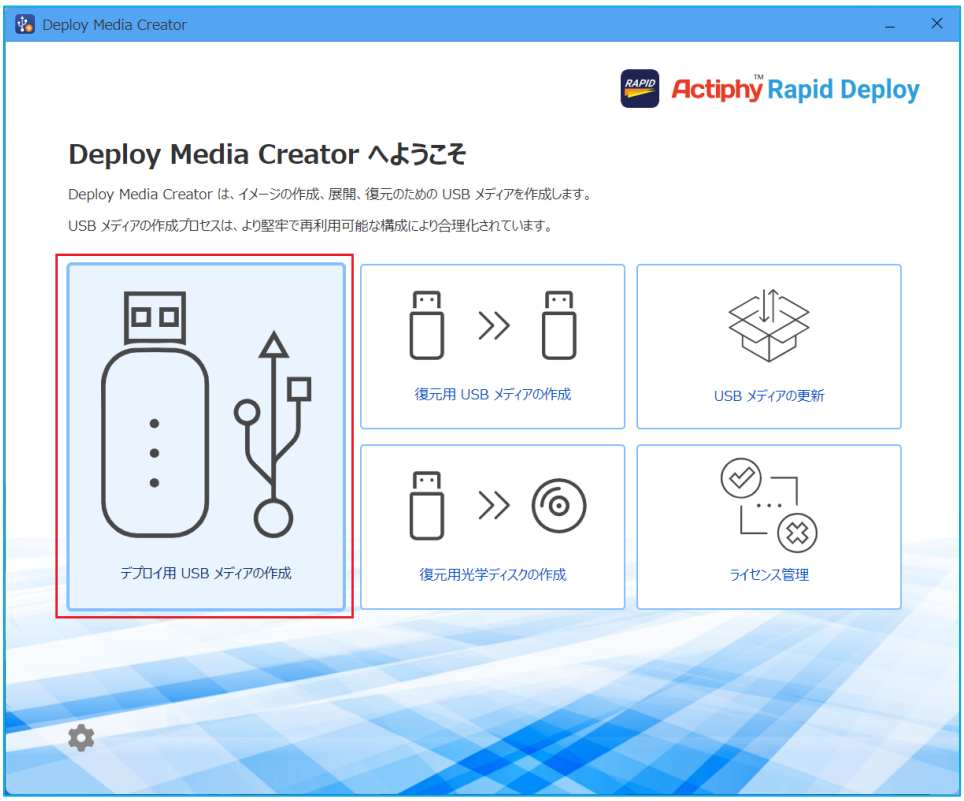
5. ImageCast クライアント メディアの作成

「ImageCast クライアント メディア」は、デプロイ対象のクライアント PC から配信サーバーの ImageCast Server に接続をおこなうためのブートメディアです。

ここでは、作業用コンピューターにインストールした「Deploy Media Creator」から「ImageCast クライアント メディア」の作成手順を説明しています。

※ ネットワークブートによるデプロイをおこなう場合は、ImageCast クライアント メディアの作成は不要です。

1. Deploy Media Creator のコンソールから、[デプロイ用 USB メディアの作成]をクリックします。



2. プリセット USB 設定

「ImageCast クライアント メディア」を作成する場合は、[ImageCast クライアント]を選択します。



3. 起動環境の設定

[起動ツールの選択]では、一般的なコンピューターであれば、Windows に標準でインストールされている[Windows RE]を選択します。Windows ADK のアドオンの Windows PE をインストールしていて使用する場合には、プルダウンメニューで選択することができます。



[起動環境の設定]では、言語設定をおこなうことができます。



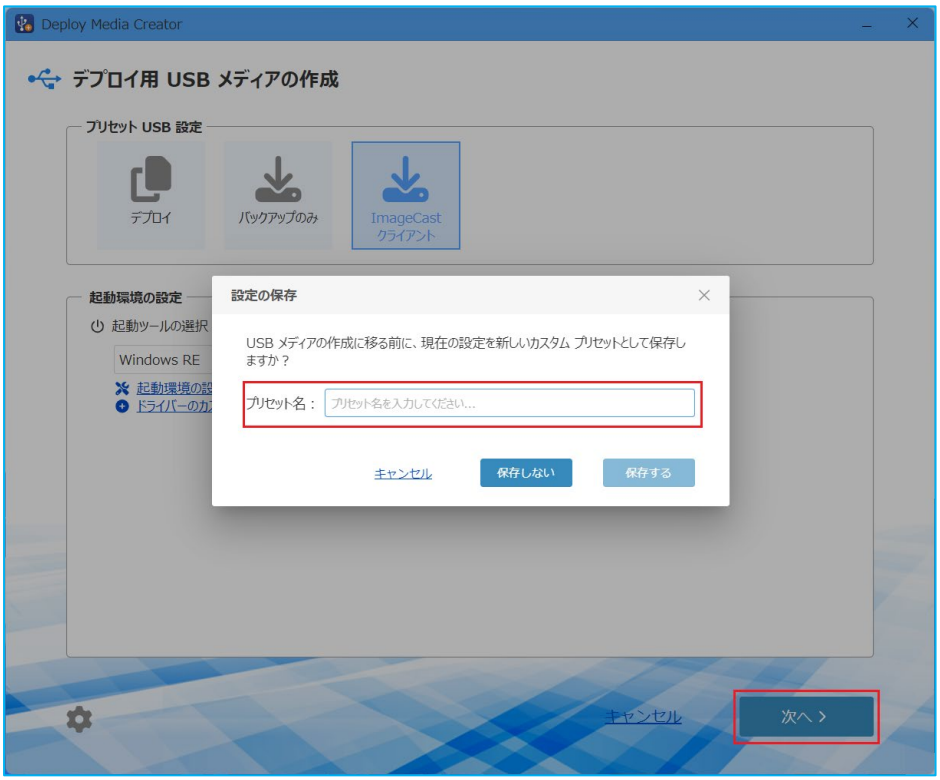
［ドライバーのカスタマイズ]では、Deploy Media Creator をインストールした環境に存在するドライバーを選択して組み込むことができます。当該環境に存在しないドライバーについては、メーカーサイトからダウンロードしてドライバーを準備後、[ドライバー追加]より組み込むことができます。



4. 設定の保存

   [次へ]をクリックすると、設定を保存するか確認の画面が表示されます。

   この設定をプリセットとして保存する場合は、名前を付けて[保存する]を選択します。

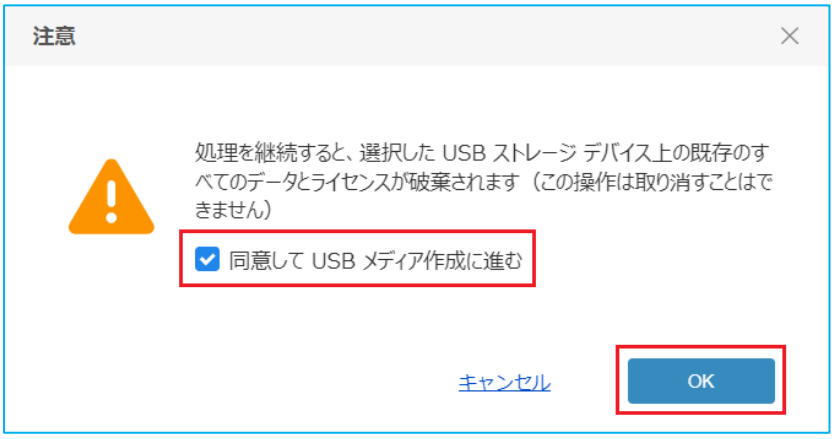


5. ImageCast クライアント メディアの作成

   作成先の USB メディアを選択し、[作成開始]をクリックすると確認画面が表示されます。複数の USB メディアを接続して、同時に作成することができます。



6. 確認画面では、問題がなければ[同意して USB メディア作成に進む]にチェックを入れ、[OK]をクリックすると作成が開始されます。



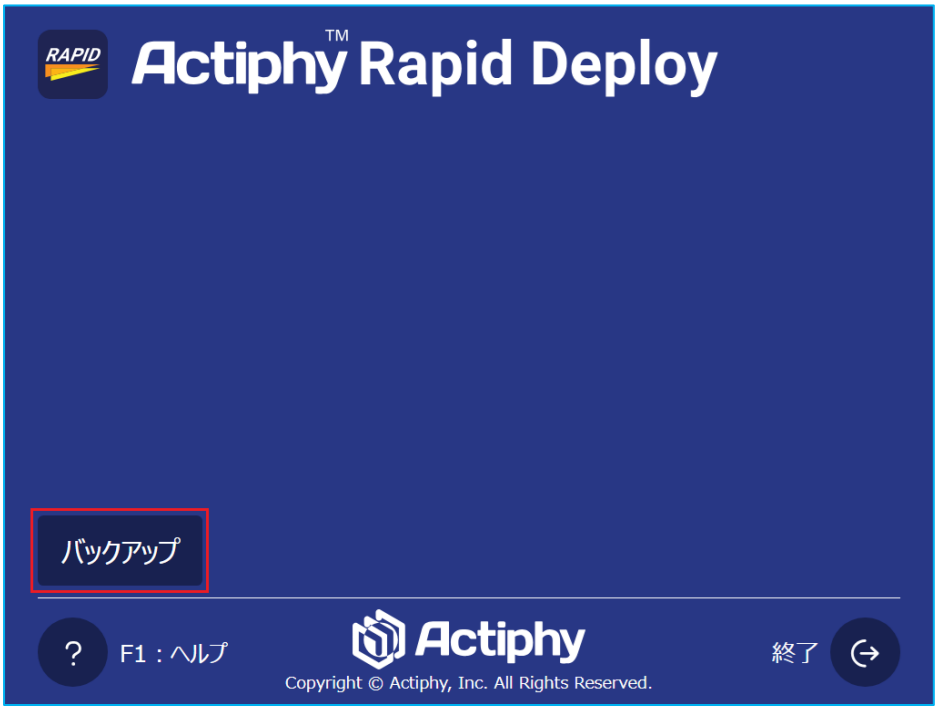
7. ステータスに[作成成功]と表示されたら、ImageCast クライアント メディアの作成は完了です。



6. マスターイメージの取得

ここでは、デプロイ作業に使用する、マスターとして作成したマスターPC のイメージ（マスターイメージ）の取得手順を説明しています。

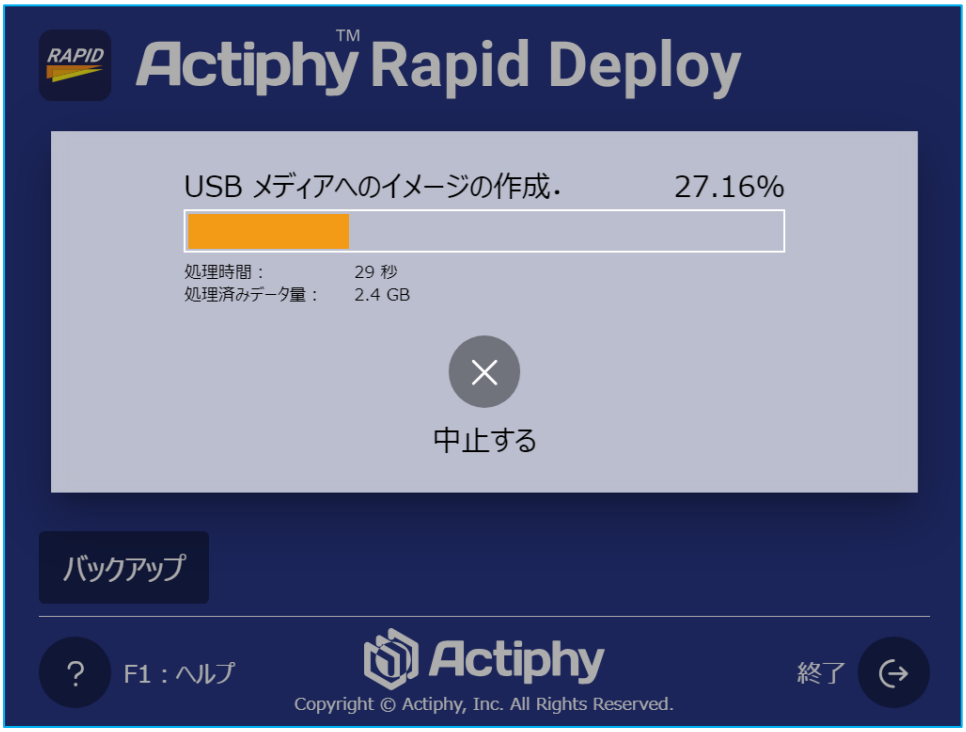
1. 作成したデプロイ用 USB メディアからマスターPC を起動します。
   初回起動時の画面では、[バックアップ]をクリックします。



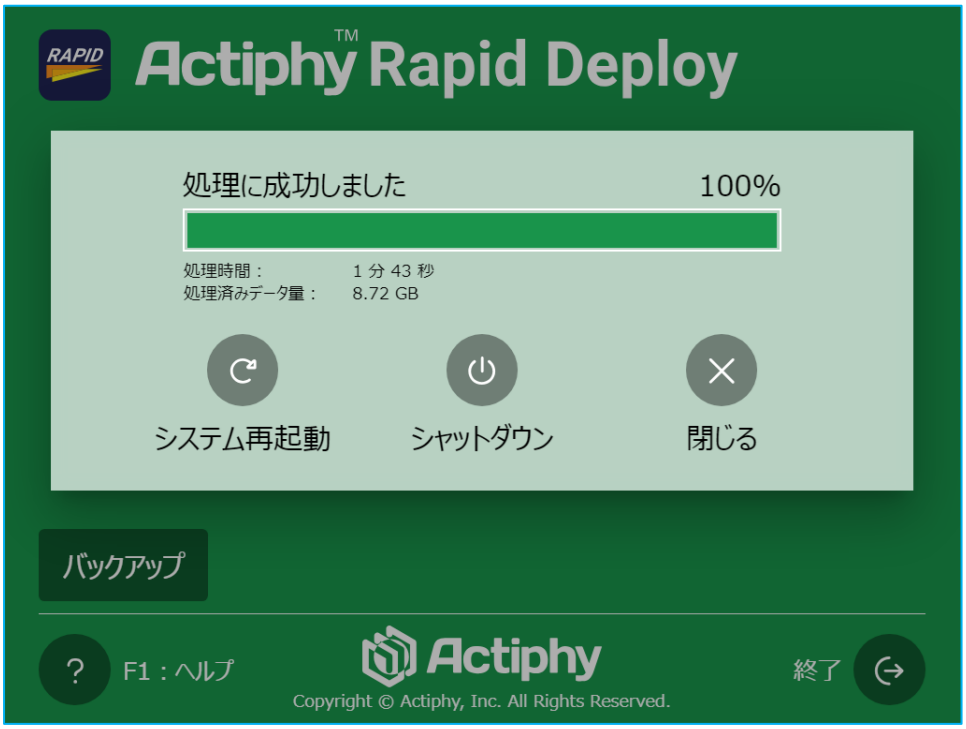
2. 次に、[フルバックアップ]をクリックします。



3. マスターイメージの取得が開始されると、進捗状況が表示されます。マスターイメージは、デプロイ用 USB メディアの 2 番目のボリューム内に作成されます。



4. マスターイメージの取得が完了すると、進捗状況が 100%になりコンソール全体の色がグリーンに変わります。これでマスターイメージの取得は完了です。



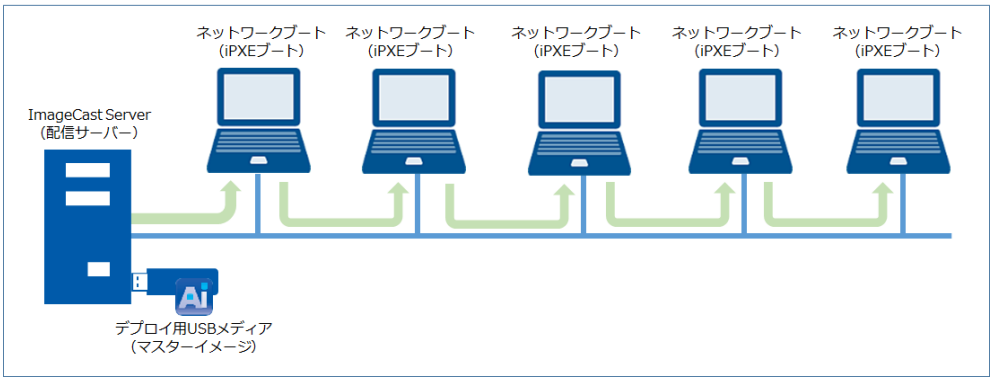
7. マスターイメージのデプロイ

7-1. Actiphy Rapid Deploy のデプロイ方式

Actiphy Rapid Deploy のデプロイは、「ネットワーク配信」と「スタンドアロン」の大きく 2 種類の方式から選択して使用できます。ネットワーク配信については、クライアント PC のネットワークブート、またはクライアント用のブートメディアから起動してデプロイをおこなうことができます。

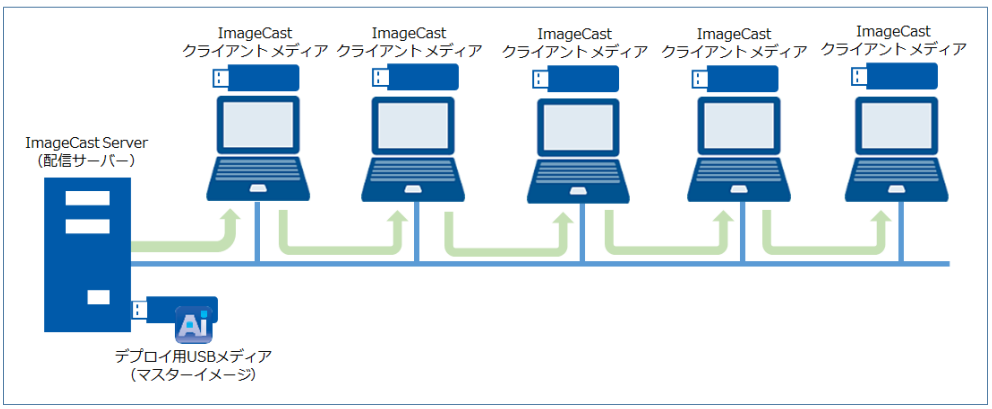
1. ネットワークブートを利用したデプロイ
   クライアント PC を NIC(Network Interface Card)に標準で搭載されているネットワークブートから起動し、配信サーバーの「ImageCast Server」に接続してデプロイをおこなう方式です。定期的に大規模なキッティング作業をおこなうような環境に適しています。
   ※ Actiphy Rapid Deploy のクライアント PC のネットワークブートは、PXE 機能を拡張した「iPXE」を使用した高速なネットワークブートを可能にしています。

ネットワークブート方式

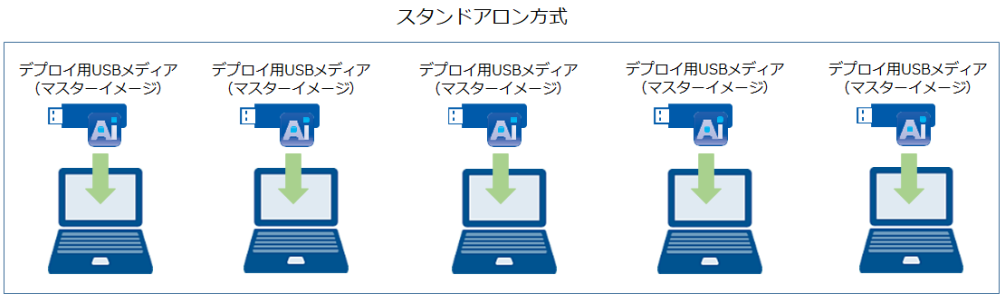


2. クライアント用ブート メディアを使用したデプロイ
   クライアント PC をクライアント用ブートメディアの「ImageCast クライアント メディア」から起動し、配信サーバーの「ImageCast Server」に接続してデプロイをおこなう方式です。対象のクライアント PC が、ネットワークブート iPXE または PXE に対応していない場合は、この方式を使用することができます。

クライアント用ブートメディア起動方式



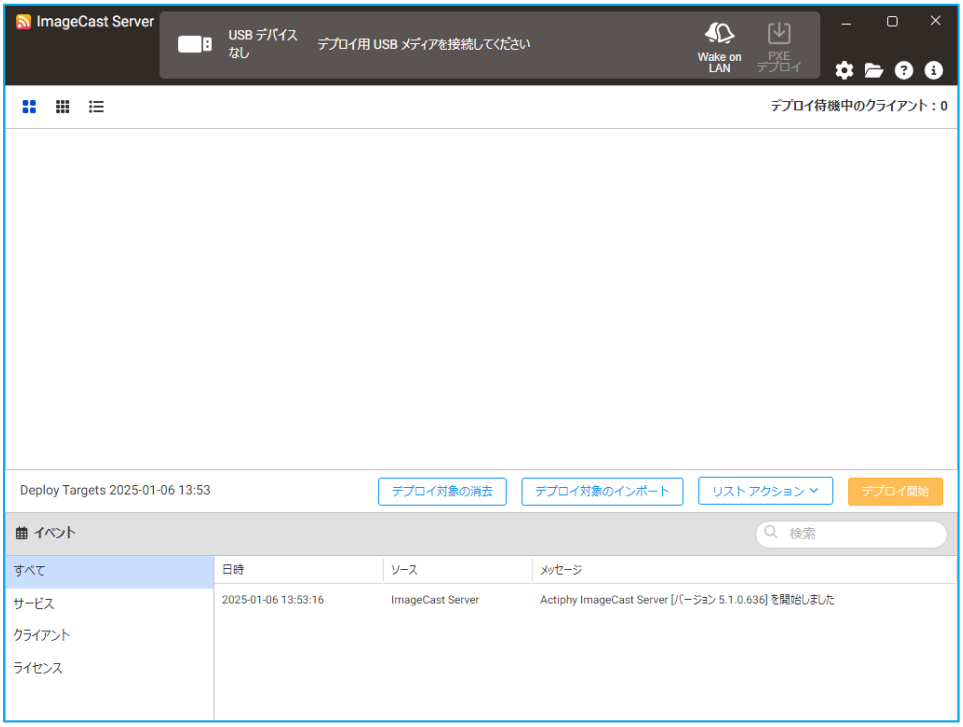
3. デプロイ用 USB メディアを使用したデプロイ
   旧製品の ActiveImage Deploy USB と同様、デプロイ用 USB メディアを使用して各 PC を起動し、デプロイをおこなう方式です。配信サーバーやネットワーク機器などの設備が不要のため、電源さえあればどこでも簡単にデプロイ作業をおこなうことができます。



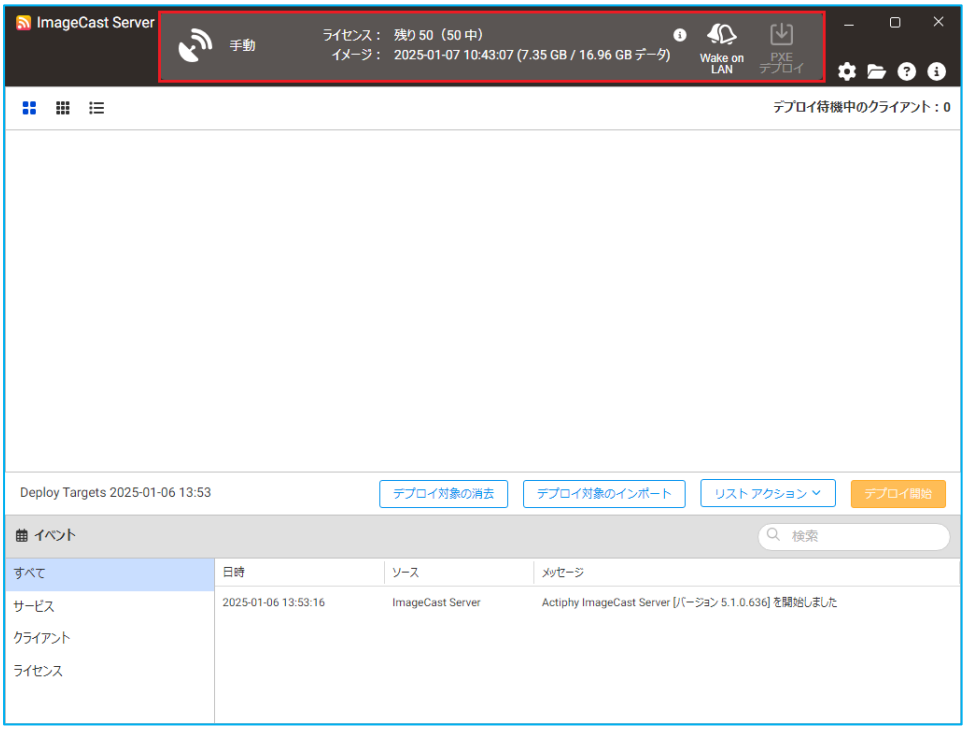
7-2. ネットワークブートを利用したデプロイ

ここでは、Actiphy Rapid Deploy のネットワークブートを利用したデプロイ手順を説明しています。

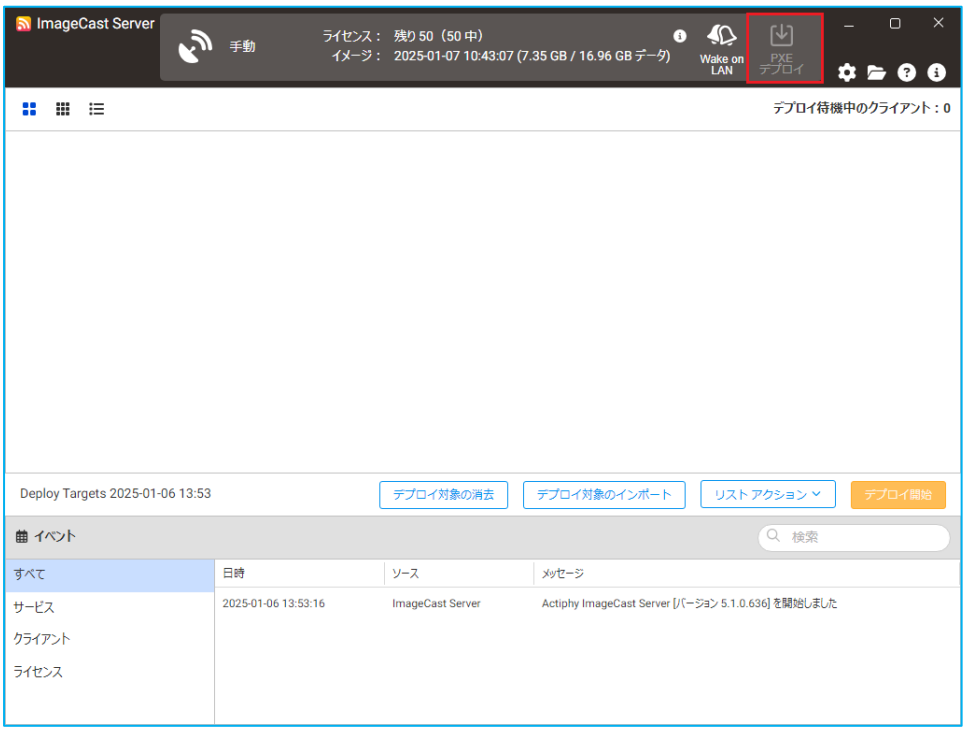
1. ImageCast Server の起動
   Windows スタートメニューから[Actiphy] → [ImageCast Server]をクリックします。または、ディスクトップ画面上の[ImageCast Server]のアイコンをクリックします。 ImageCast Server のコンソールが起動したら、マスターイメージを取得した「デプロイ用 USB メディア」をサーバーに接続します。



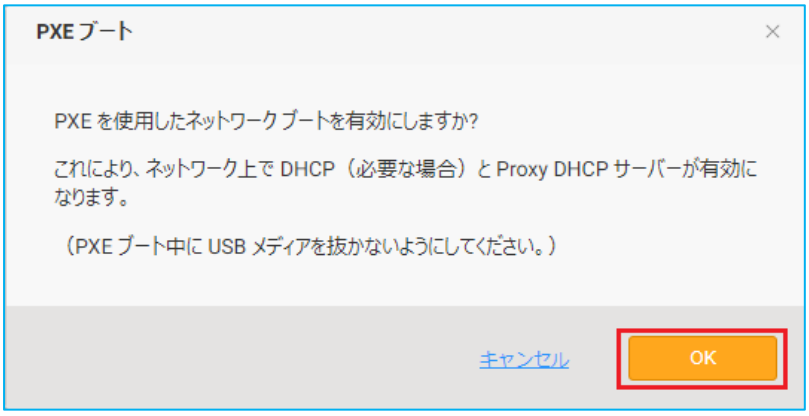
2. デプロイ用 USB メディアは、自動的に ImageCast Server に接続され、割り当てられているライセンス数やマスターイメージの情報が表示されます。



3. 次に、[PXE デプロイ]をクリックすると、PXE サーバーが起動します。



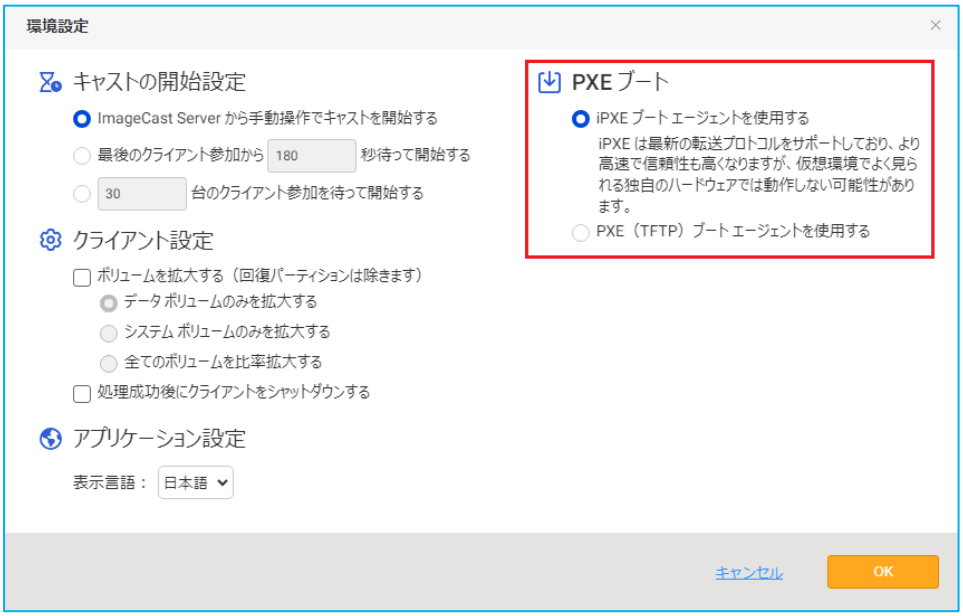
4. 確認ダイアログでは、[OK]をクリックすると PXE サーバーと DHC サーバーが有効になります。



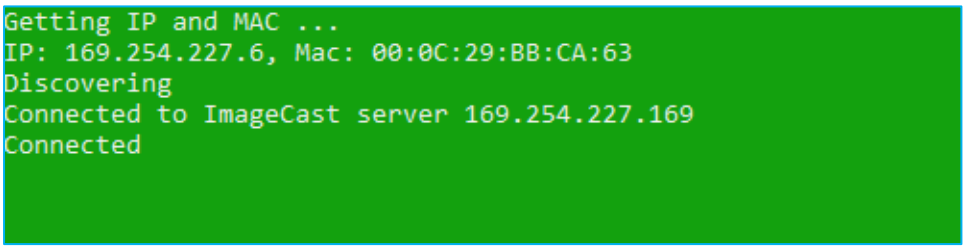
5. 環境設定

コンソール右上の歯車ボタン[⚙]から環境設定を必要に応じて変更できます。

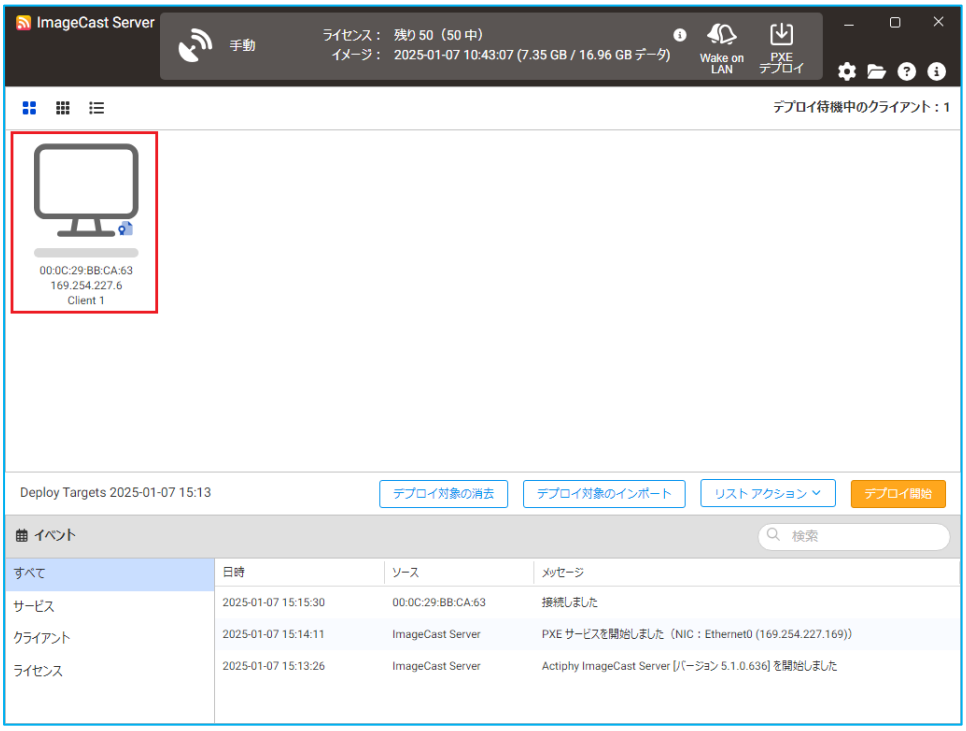
[PXE ブート]では、ネットワークブート方式を設定できます。標準設定では、PXE 機能を拡張した「iPXE ブート」を利用したネットワークブートとなります。クライアント PC が iPXE に対応していない場合は、PXE ブートを利用することができます。



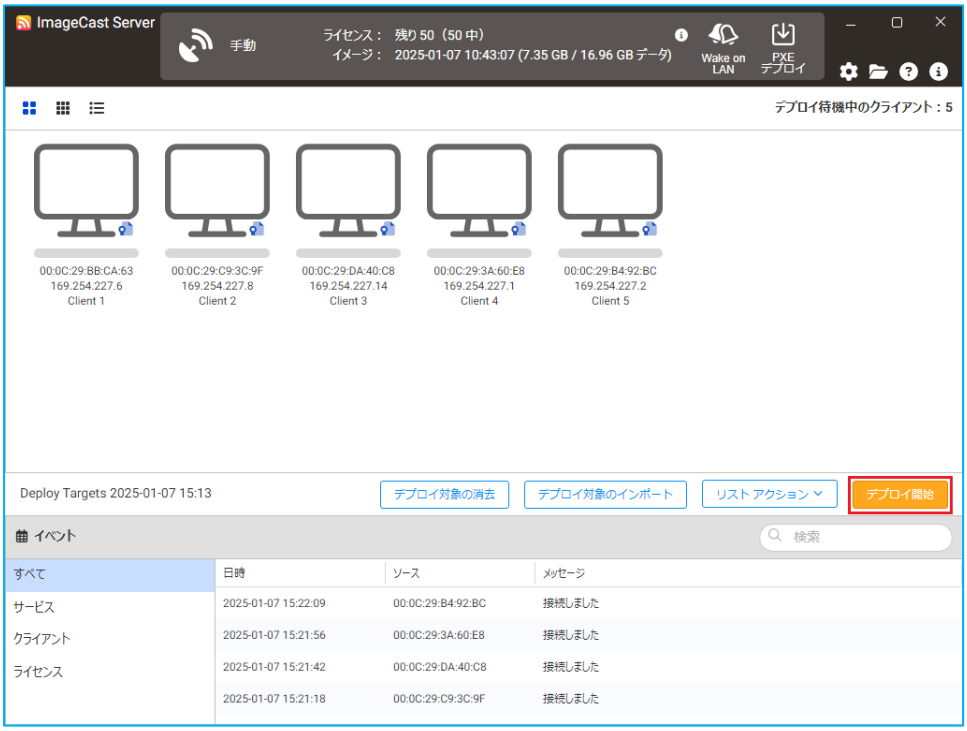
6. クライアント PC の起動
   デプロイ対象の各クライアント PC をネットワークに接続し、ネットワークブートを実行します。
   自動的に配信サーバーの ImageCast Server を検出して接続されます。ImageCast Server への接続が完了すると、クライアント PC の画面には[Connected]というメッセージが表示されます。



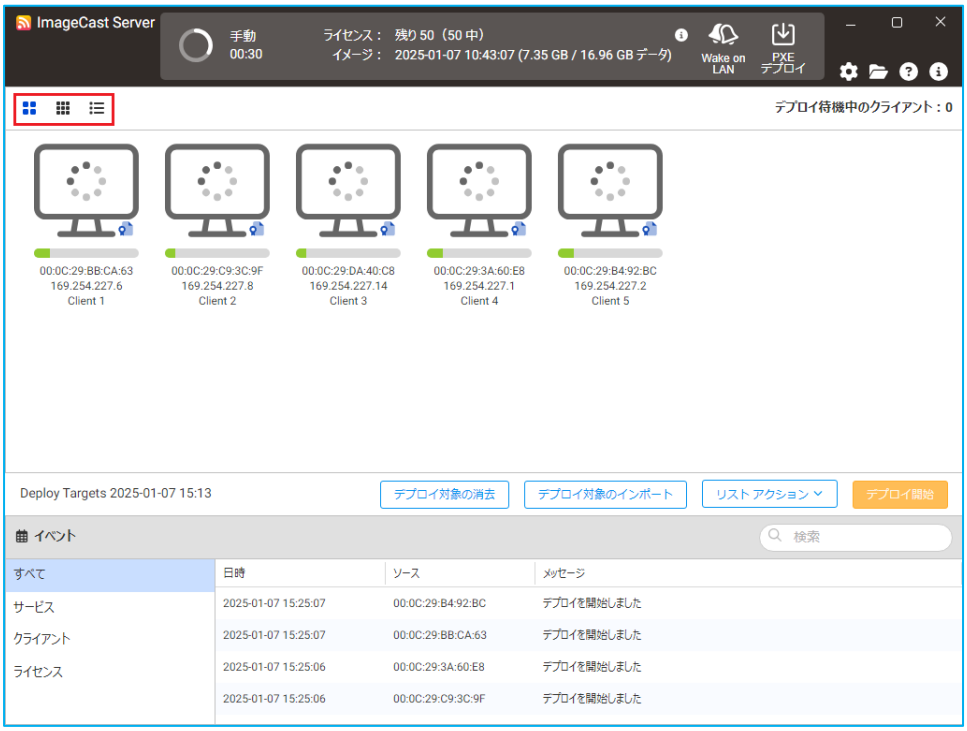
7. ImageCast Server のコンソールには、接続されたクライアント PC が表示されます。接続された PC は、MAC アドレスから確認することができます。



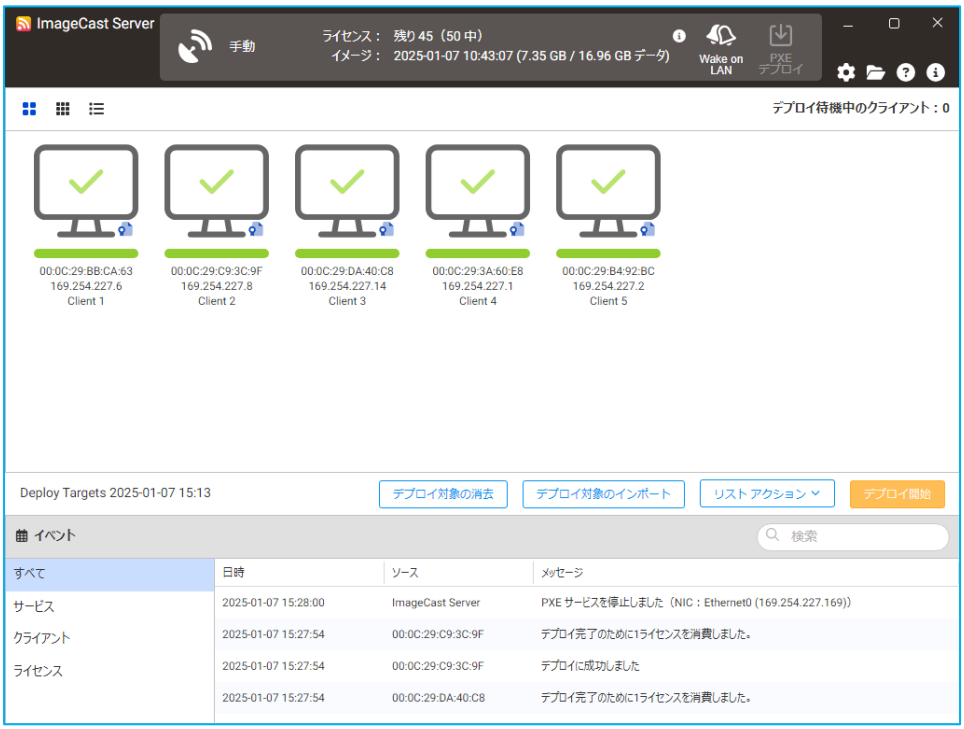
8. デプロイ対象のすべてのクライアント PC の接続が完了したら、[デプロイ開始]をクリックしてデプロイを開始します。



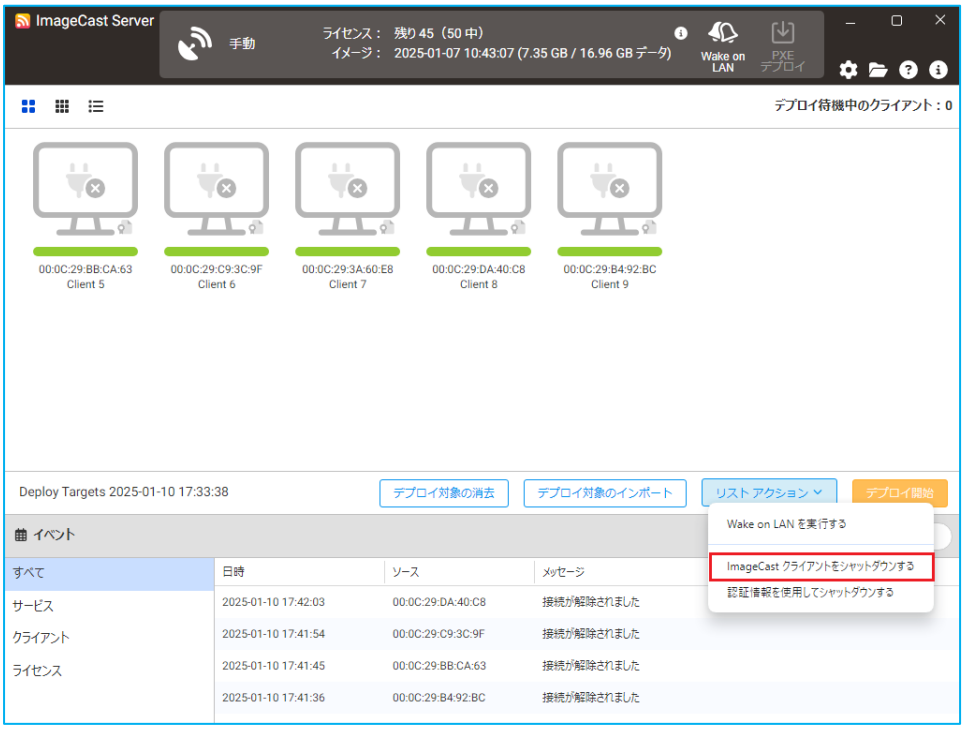
9. 各クライアント PC のデプロイの進捗状況が表示されます。コンソール左上の表示切替アイコンをクリックすると、クライアント PC 画面のサイズ縮小やリスト表示することができます。



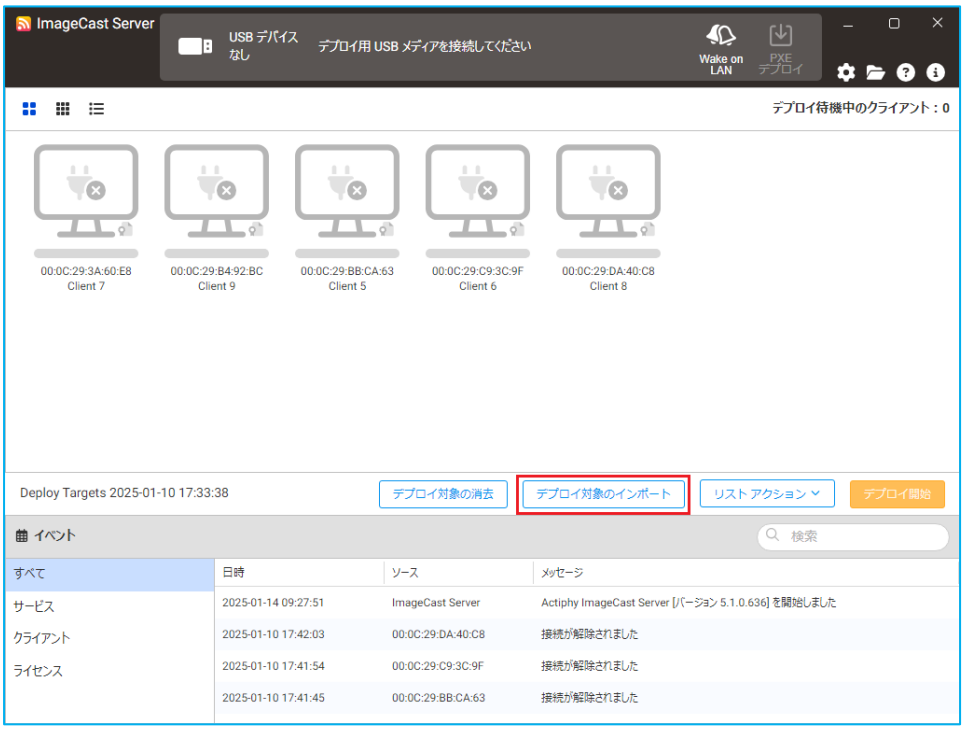
10. 進捗状況のクライアント PC の画面内に、緑色のチェックマーク[✔]が表示されたらデプロイは完了です。



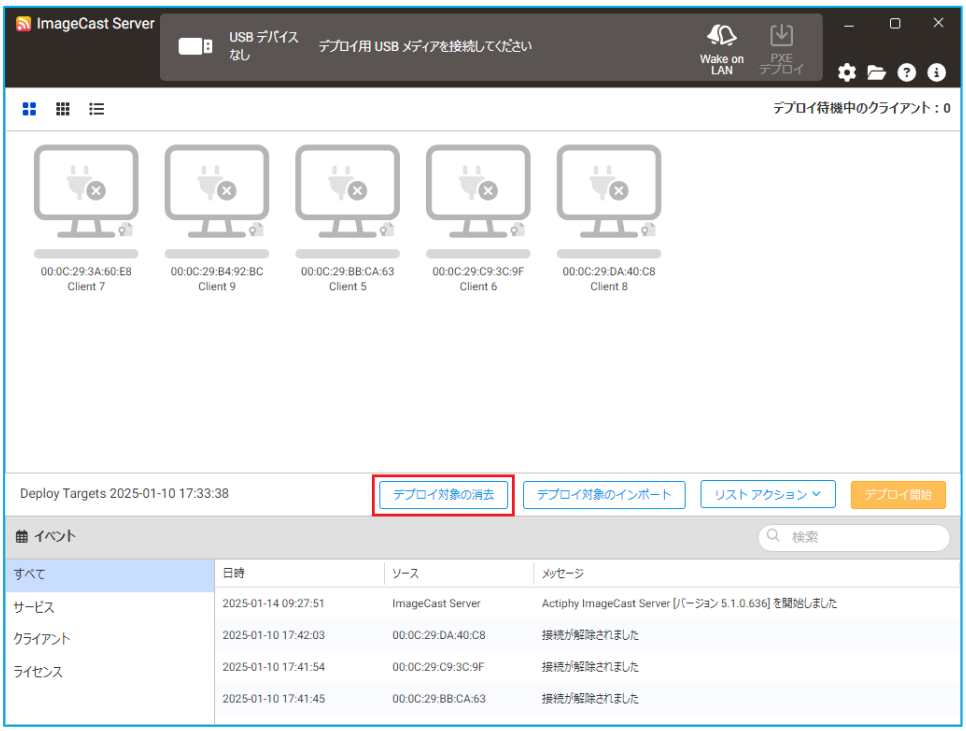
11. コンソール中央右側の[リスト アクション] のプルダウンメニューから、[ImageCast クライアントをシャットダウンする]をクリックして、クライアント PC をシャットダウンします。これでネットワークブート方式による、マスターイメージのデプロイは完了です。



12. [デプロイ対象のインポート]では、デプロイ用メディアに保存されている、過去にデプロイを実行したデプロイ対象リストをインポートすることができます。このデプロイ対象リストにあるクライアント PC に対して、[リストアクション]から Wake on LAN、ImageCast クライアントのシャットダウン、認証情報を使用した Windows システムのシャットダウンがおこなえます。



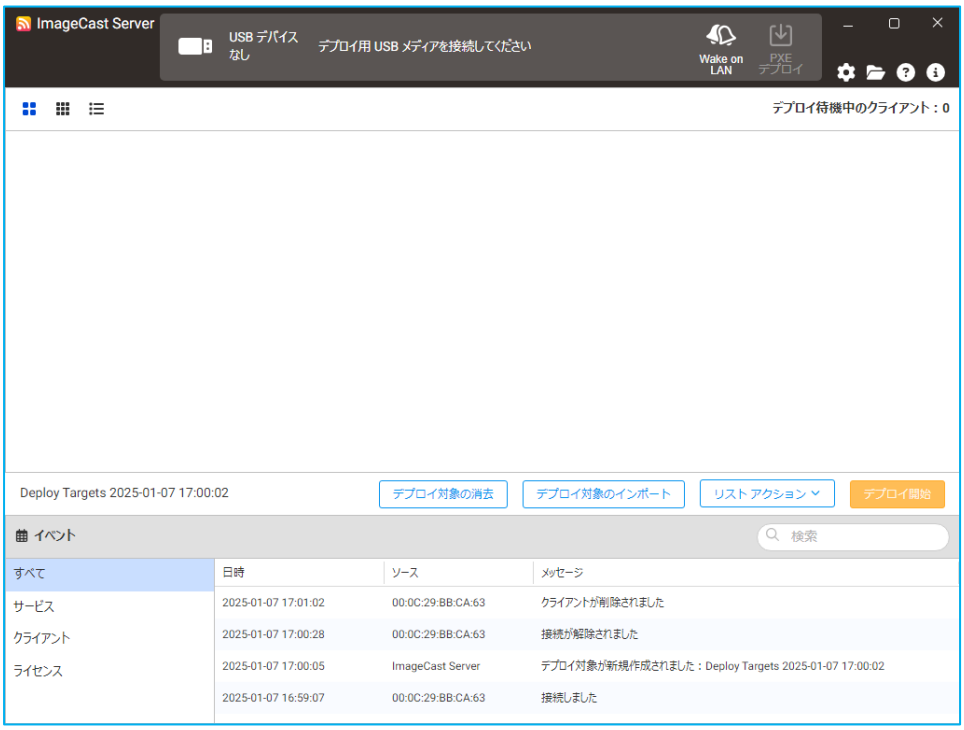
13. [デプロイ対象の消去]では、現在のデプロイ対象リストを消去し、新たにデプロイ対象リストを再作成することができます。再作成時に任意のリスト名称と説明が設定できます。



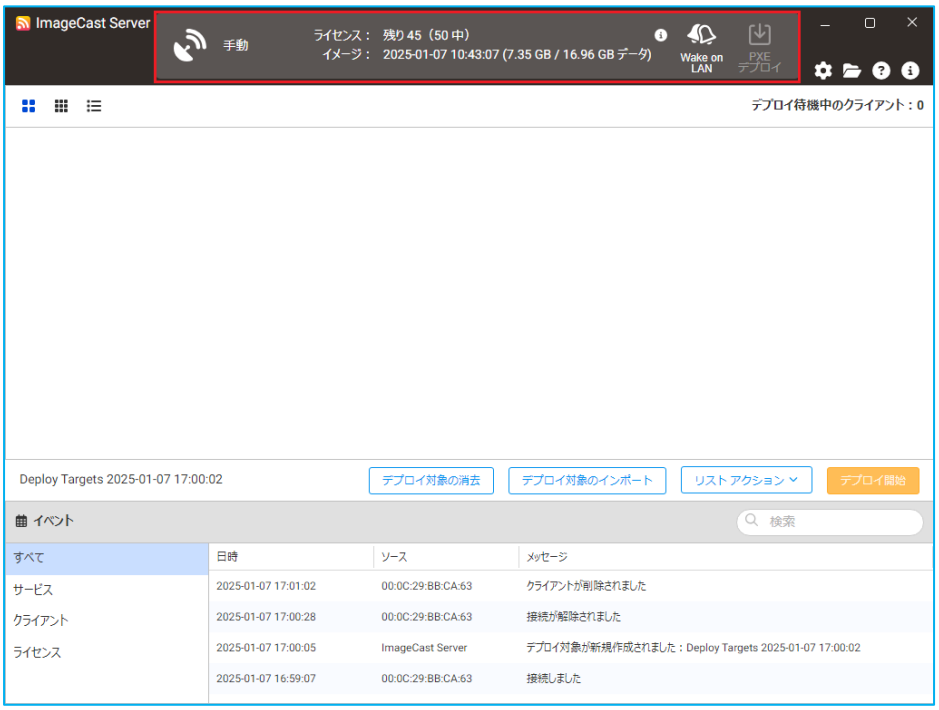
7-3. クライアント用ブートメディアを使用したデプロイ

ここでは、Actiphy Rapid Deploy のクライアント用ブートメディアの「ImageCast クライアント メディア」を使用したデプロイ手順を説明しています。

1. ImageCast Server の起動
   ネットワークブート方式と同じ様に、Windows スタートメニューから[Actiphy] → [ImageCast Server]をクリックします。または、ディスクトップ画面上の[ImageCast Server]のアイコンをクリックします。ImageCast Server のコンソールが起動したら、マスターイメージを取得した「デプロイ用 USB メディア」をサーバーに接続します。



2. 自動的に ImageCast Server に接続され、「デプロイ用 USB メディア」に割り当てられているライセンス数やマスターイメージの情報が表示されます。



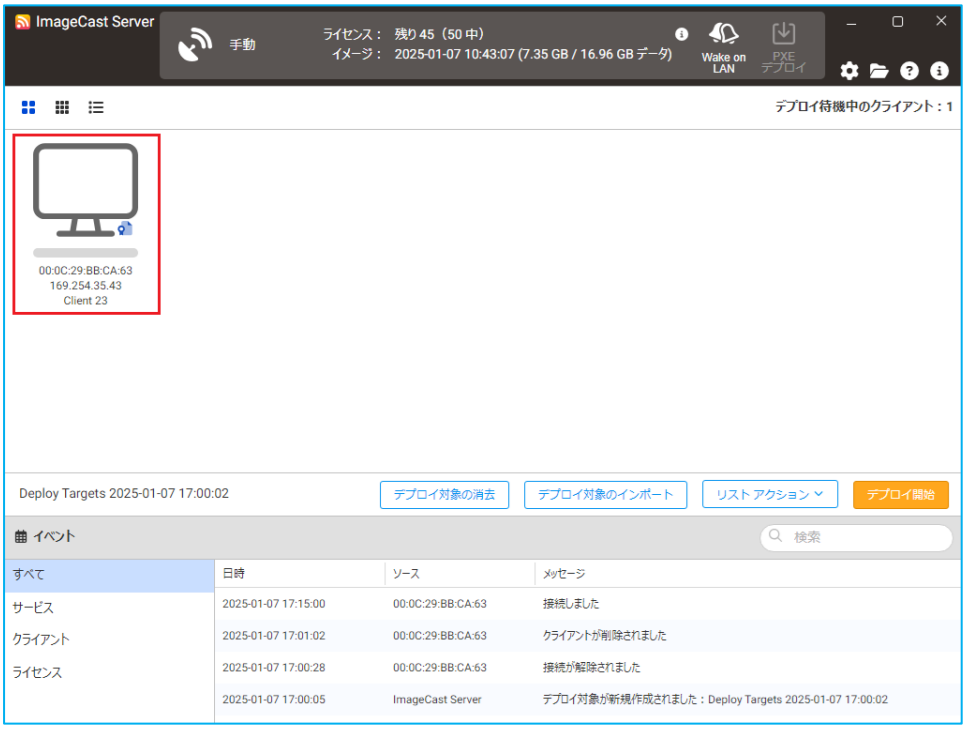
3. クライアント PC の起動

デプロイ対象の各クライアント PC をネットワークに接続し、「ImageCast クライアント メディア」からクライアント PC を起動します。自動的に配信サーバーの ImageCast Server を検出して接続されます。ImageCast Server への接続が完了すると、クライアント PC の画面には[接続済み]というメッセージが表示されます。

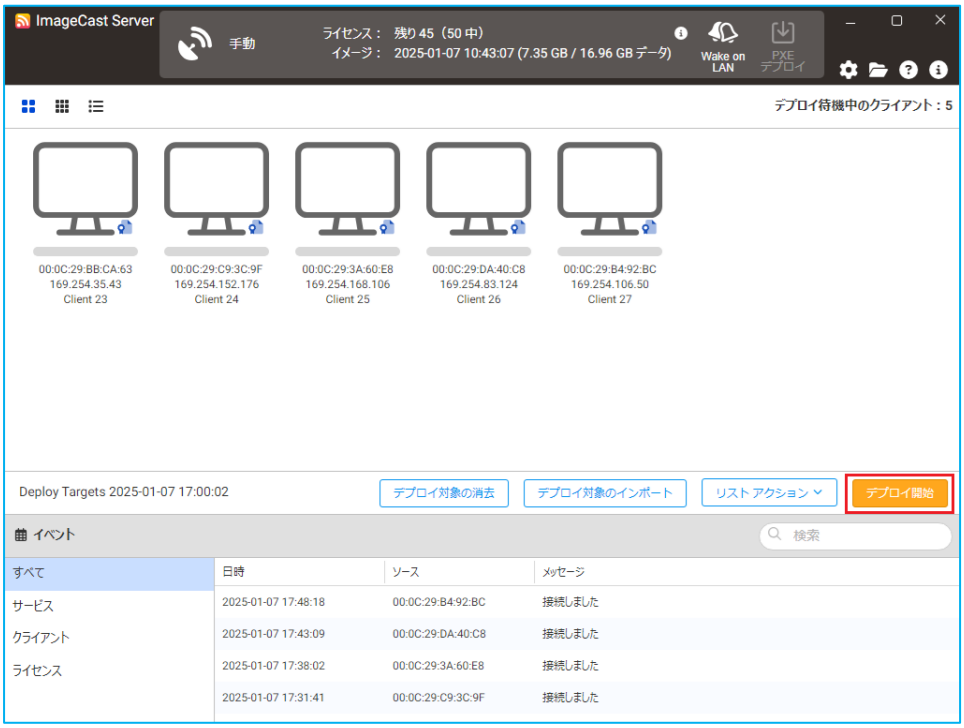
※ ImageCast Server への接続が完了したら、ImageCast クライアント メディアは取り外すことができます。



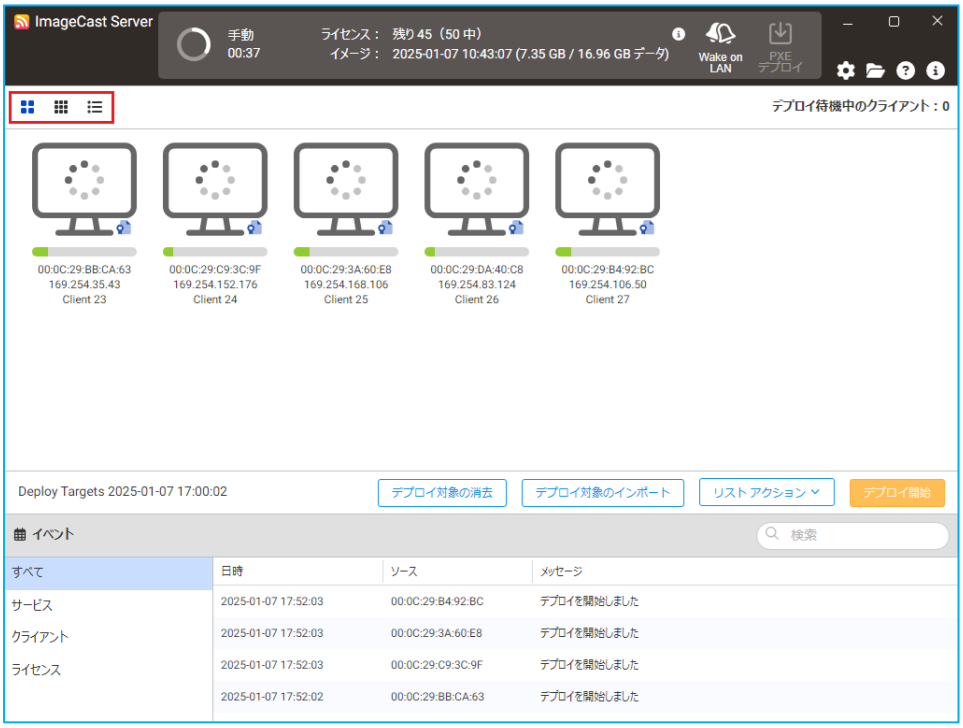
4. ImageCast Server のコンソールには、接続されたクライアント PC が表示されます。接続された PC は、MAC アドレスから確認することができます。



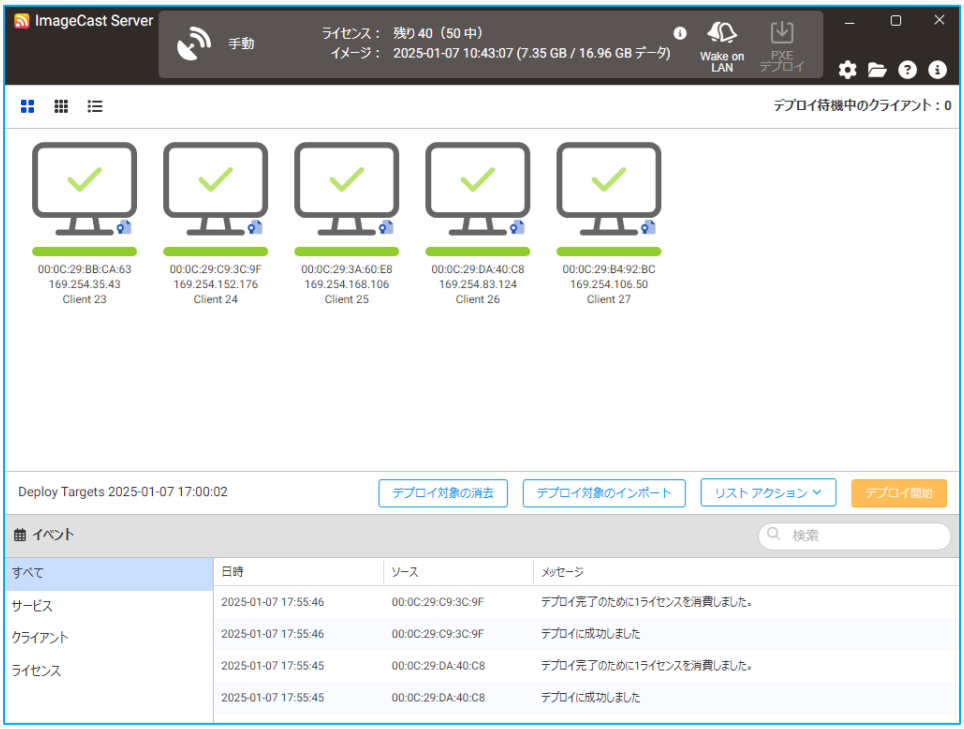
5. デプロイ対象のすべてのクライアント PC の接続が完了したら、[デプロイ開始]をクリックしてデプロイを開始します。



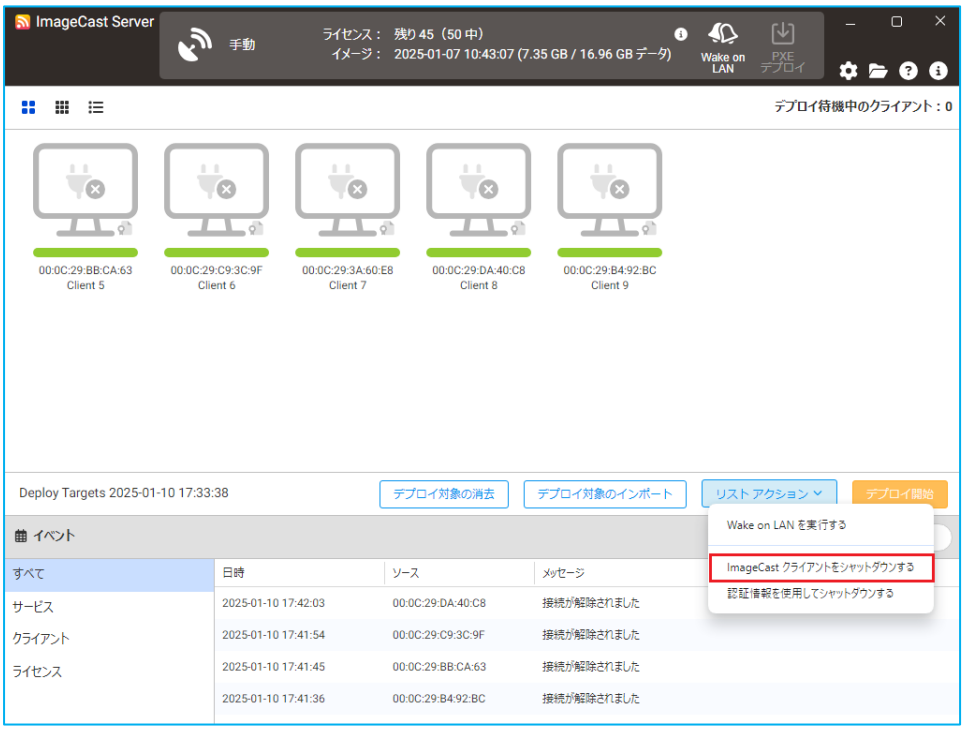
6. デプロイが開始されると、各クライアント PC の画面にデプロイ進捗状況が表示されます。コンソール左上の表示切替アイコンをクリックすると、クライアント PC 画面のサイズ縮小やリスト表示することができます。



7. 進捗状況のクライアント PC の画面内に、緑色のチェックマーク[✔]が表示されたらデプロイは完了です。



8. コンソール中央右側の[リスト アクション] から、プルダウンメニューの[ImageCast クライアントをシャットダウンする]をクリックして、クライアント PC をシャットダウンします。これで ImageCast クライアント メディアを使用した、マスターイメージのデプロイは完了です。



7-4. デプロイ用 USB メディアを使用したデプロイ

ここでは、マスターイメージを取得した「デプロイ用 USB メディア」を使用したデプロイ手順を説明しています。

※ 複数台の PC のデプロイ作業を並行しておこなう場合は、作業台数分のデプロイ USB メディアを作成することにより作業を効率化することができます。作成方法は、「9-4. 複数のデプロイ USB メディアの作成」の項を参照してください。

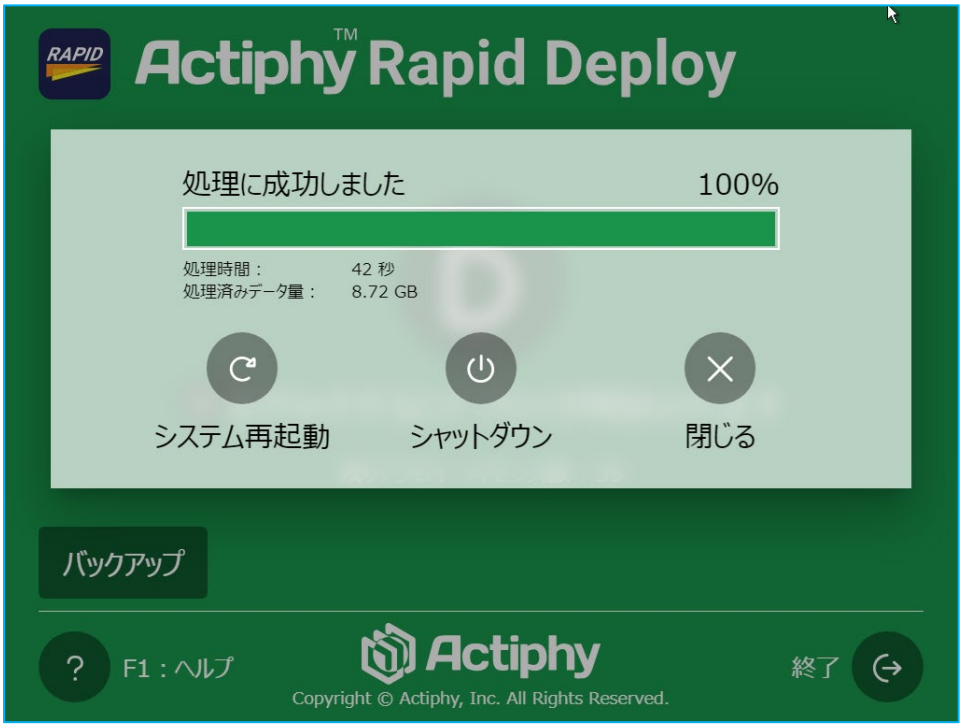
1. デプロイ対象 PC をデプロイ用 USB メディアから起動します。コンソールが起動したら、[D]ボタンをクリックするとデプロイが開始されます。



2. デプロイが開始されると進捗状況が表示されます。



3. 進捗状況が 100%になり、コンソール全体の色がグリーンに変化したらデプロイは完了です。



8. 復元用メディアの作成

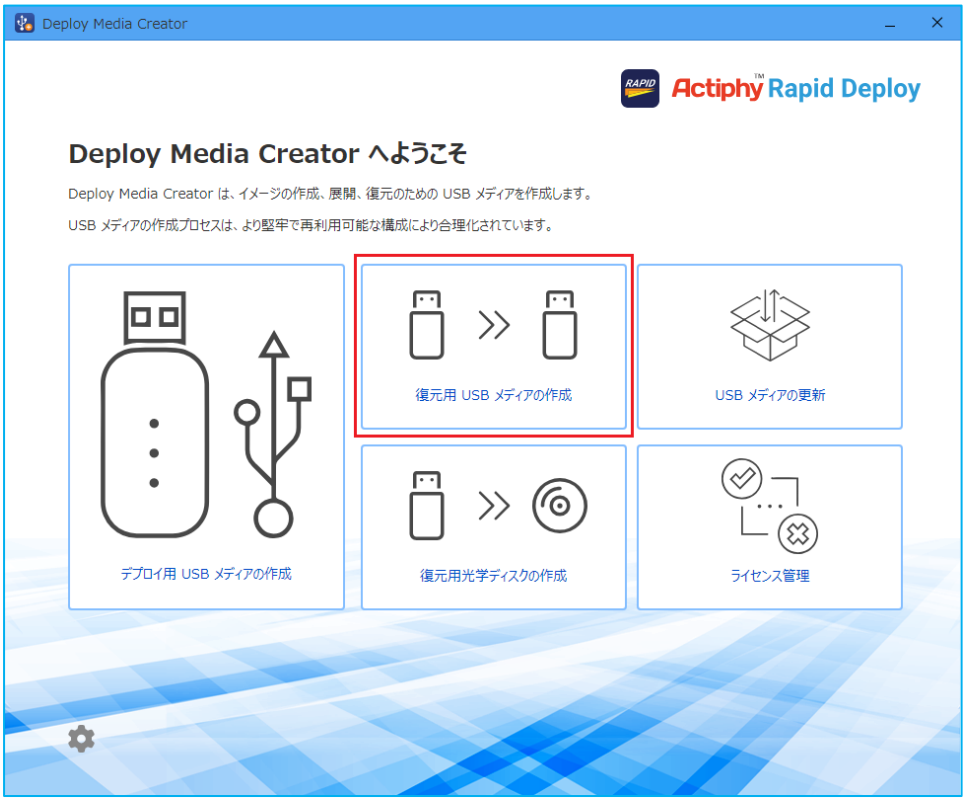
デプロイ作業に使用したマスターイメージを組み込んだ、復元用メディアを作成することができます。作成した復元用メディアは、エンドユーザー向け PC に添付して出荷することができます。また、エンドユーザーは、復元用メディアを使用して納品時の初期状態に復元することができます。

ここでは、デプロイ作業に使用したマスターイメージを組み込んだ、「復元用 USB メディア」と「復元用光学メディア」の作成手順を説明しています。

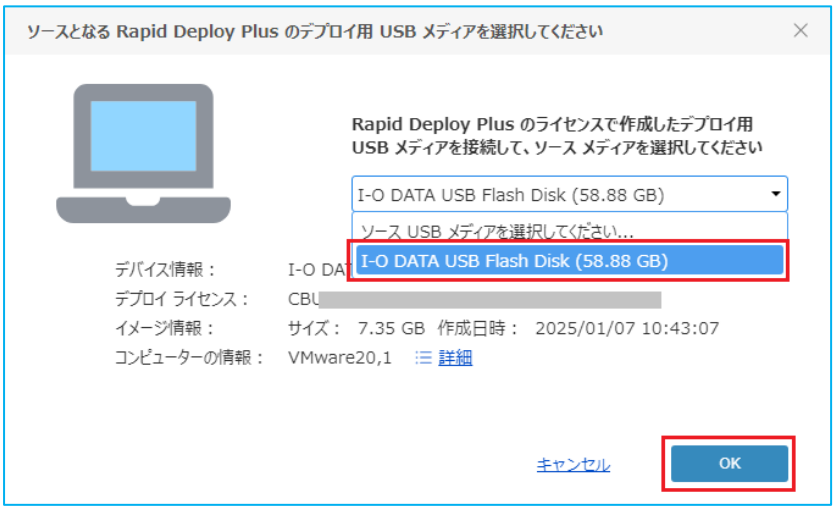
※ 復元用メディアの作成は、「Actiphy Rapid Deploy Plus」のライセンスが必要になります。

8-1. 復元用 USB メディアの作成

1. Deploy Media Creator のコンソールから、[復元用 USB メディアの作成]をクリックします。



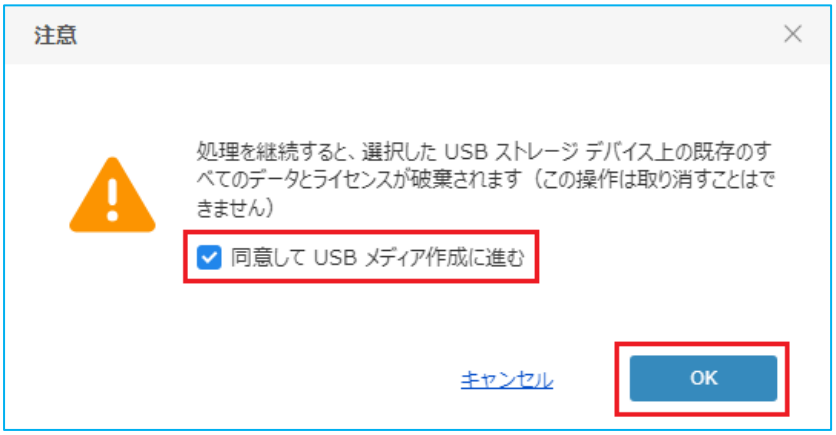
2. デプロイ作業に使用した、マスターイメージが格納された「デプロイ用 USB メディア」を接続します。接続したデプロイ用 USB メディアを選択して、[OK]をクリックします。



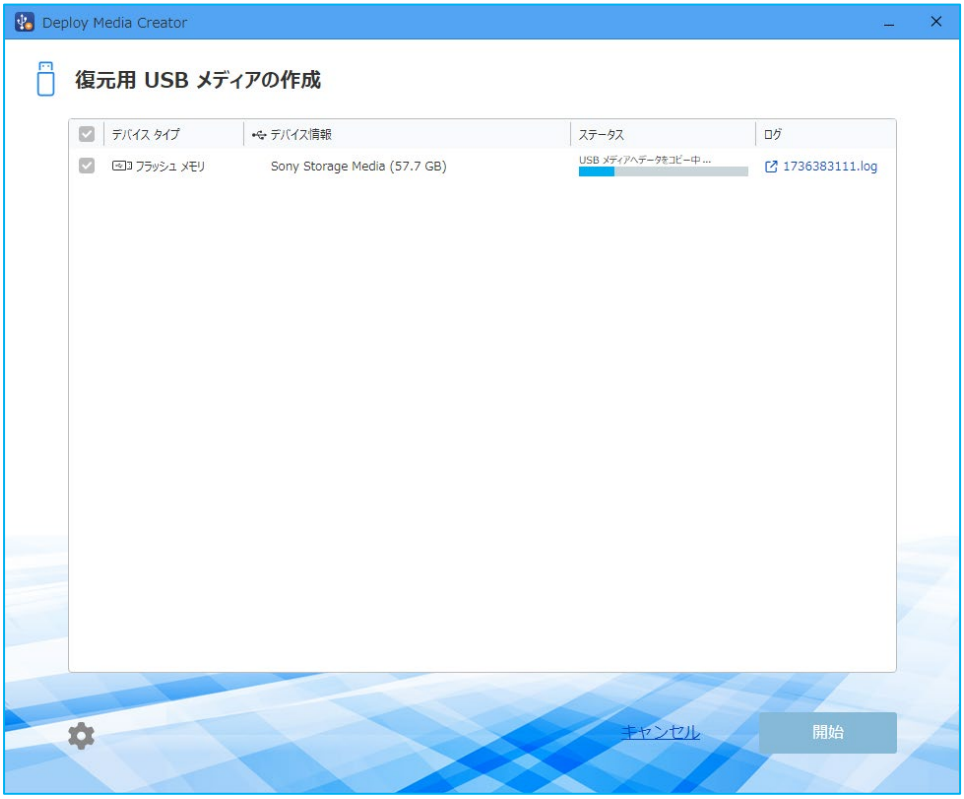
3. 次に、復元用メディア作成先の USB メディアを接続します。作成する USB メディアを選択後に、[開始]をクリックします。



4. 確認画面では、問題なければ同意にチェックを入れ、[OK]をクリックすると復元用 USB メディアの作成が開始されます。



5. 作成が開始されると、進捗状況が表示されます。

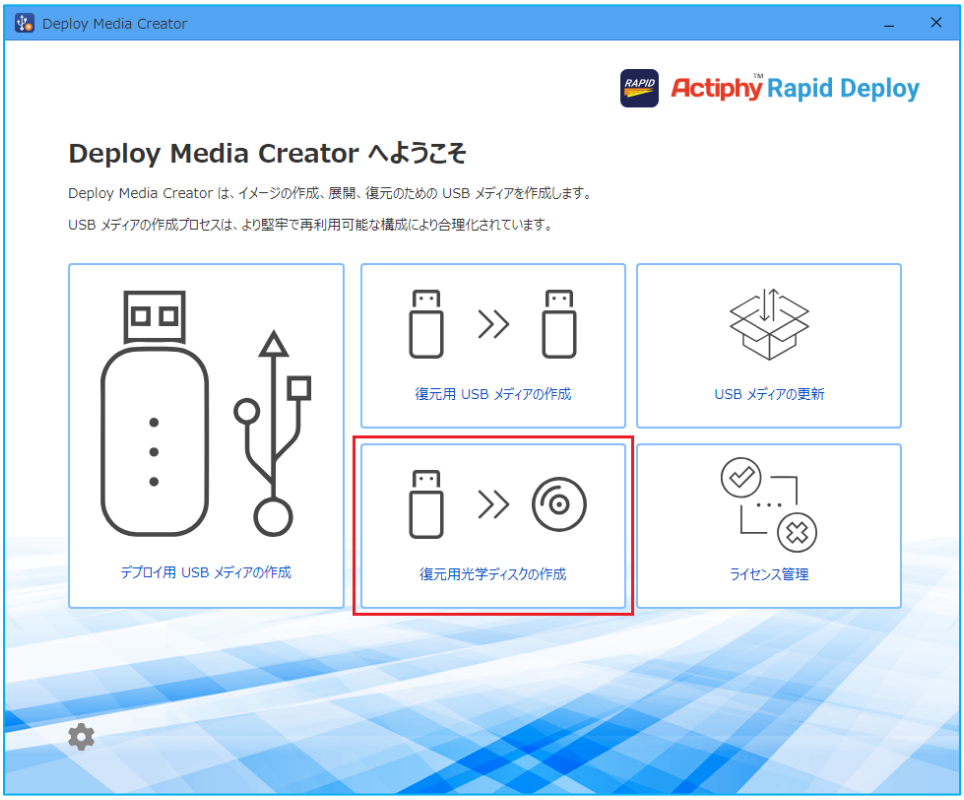


6. ステータスが[作成成功]と表示されたら、復元用 USB メディアの作成は完了です。



8-2. 復元用光学ディスクの作成

1. Deploy Media Creator のコンソールから、[復元用光学ディスクの作成]をクリックします。



2. デプロイ作業に使用した、マスターイメージが格納されたデプロイ用 USB メディアを接続します。接続したデプロイ用 USB メディアを選択して、[OK]をクリックします。



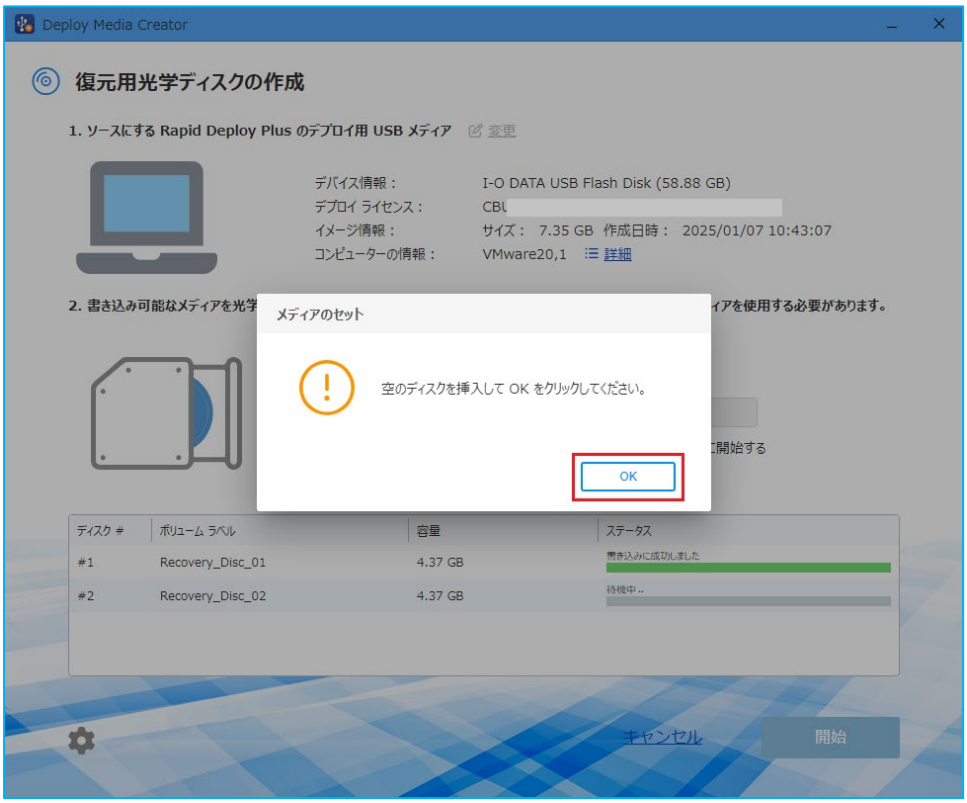
3. 次に、光学ドライブにディスクをセットします。作成する光学ドライブを選択後に、[開始]をクリックします。光学ディスクにデータがすべて収録できない場合は、複数枚に分割して作成します。



4. 作成が開始されると、進捗状況が表示されます。



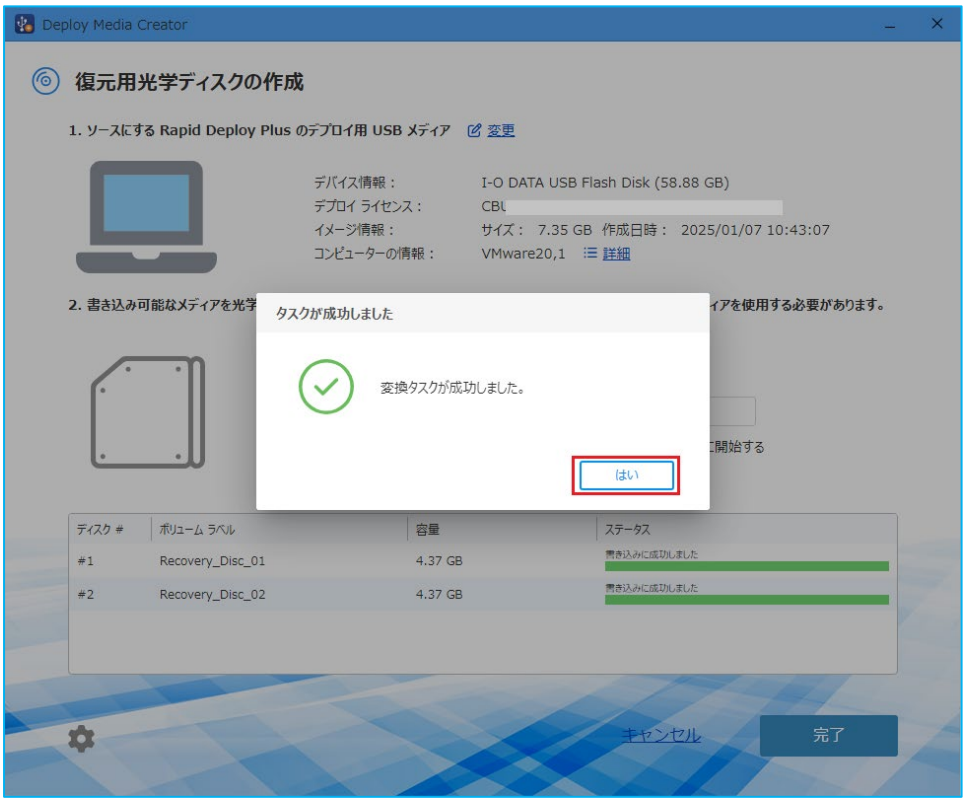
5. 1 枚目の光学ディスクに収録できない場合は、新しい空のディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。新しい同サイズの光学ディスクをセットして、[OK]をクリックします。



6. 引き続き 2 枚目の光学ディスクへの書き込みが開始されます。



7. [変換タスクが成功しました]と表示されたら、復元用光学ディスクの作成は完了です。[はい]をクリックして終了します。



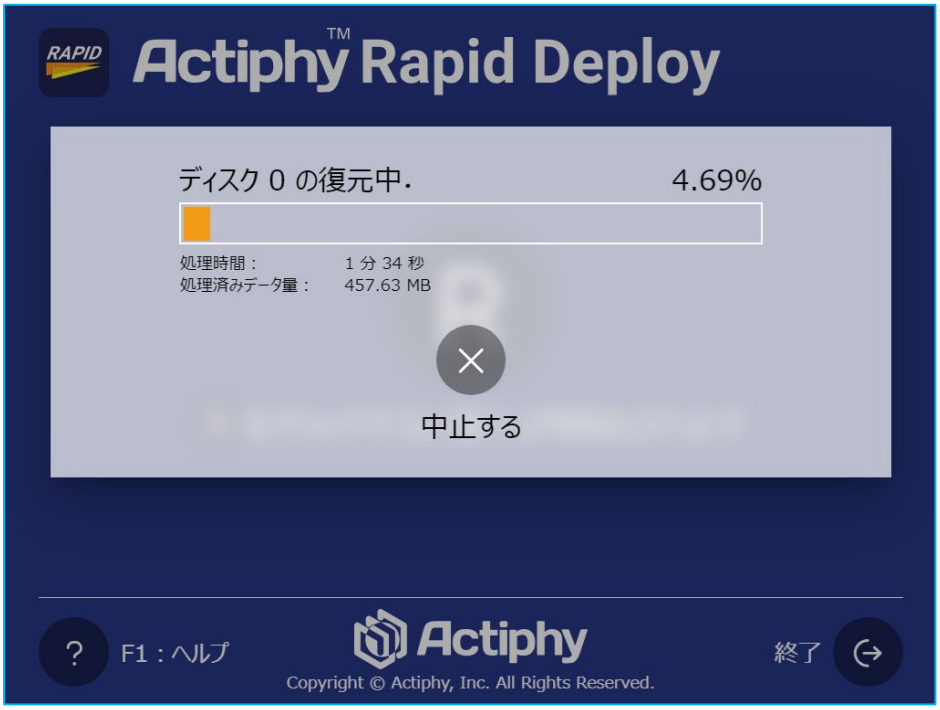
8-3. 復元用メディアからの復元

エンドユーザーは、復元用メディアを使用して納品時の初期状態に復元することができます。ここでは、復元用光学ディスクを使用した復元操作について説明しています。なお、復元用 USB メディアからの復元も同様の操作でおこなうことができます。

1. 復元対象の PC を復元用光学ディスクから起動します。コンソールが起動したら、[R]ボタンをクリックすると復元が開始されます。



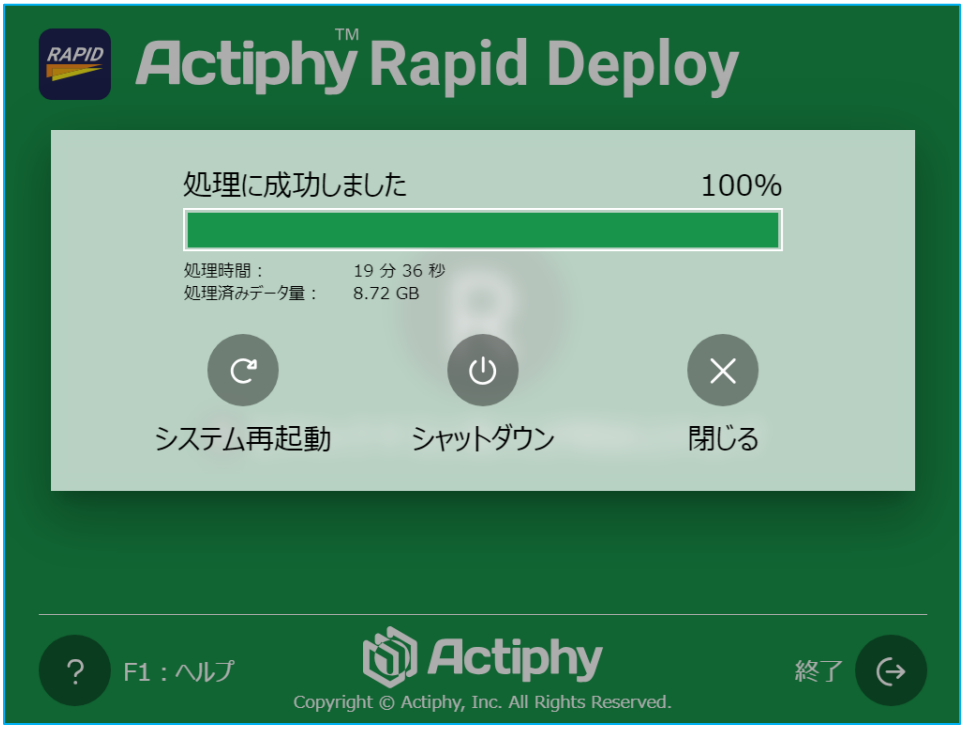
2. 復元が開始されると、進捗状況が表示されます。



3. 復元用光学ディスクが複数枚に分割されている場合は、次のディスクに交換して[OK]をクリックします。



4. 進捗状況が 100%になり、コンソール全体の色がグリーンに変化したら復元用光学ディスクからの復元は完了です。



9. 運用管理

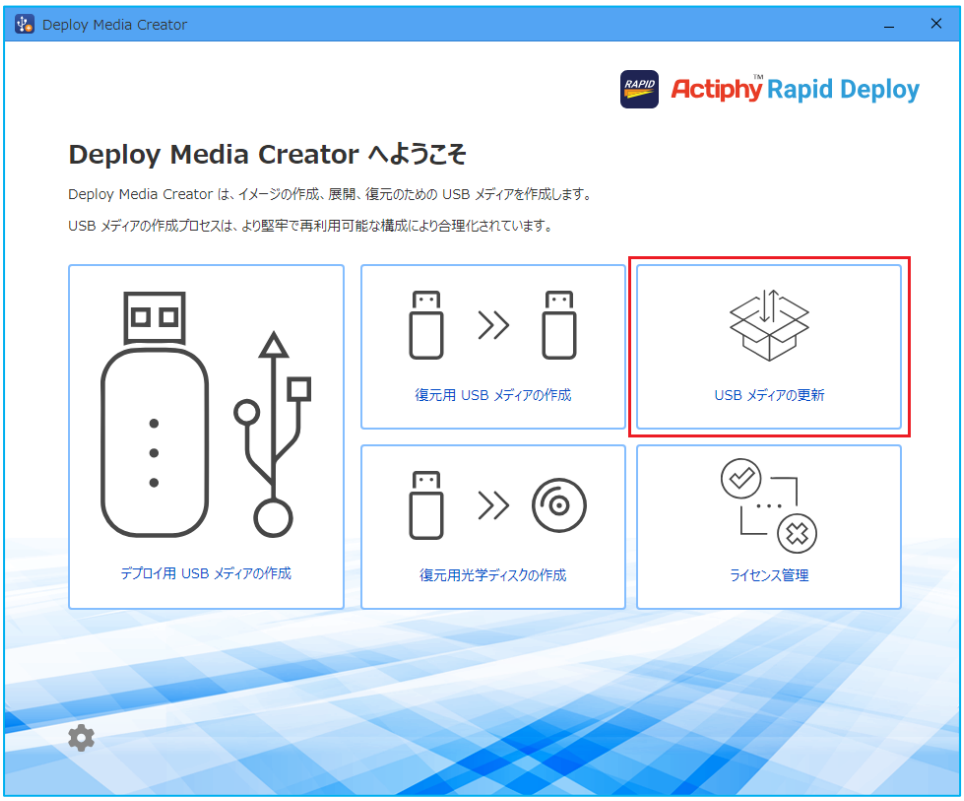
9-1. ライセンスの追加

デプロイ用 USB メディアに割り当てられたライセンスは、デプロイ作業に使用したクライアント PC 台数分（回数分）が消費されます。

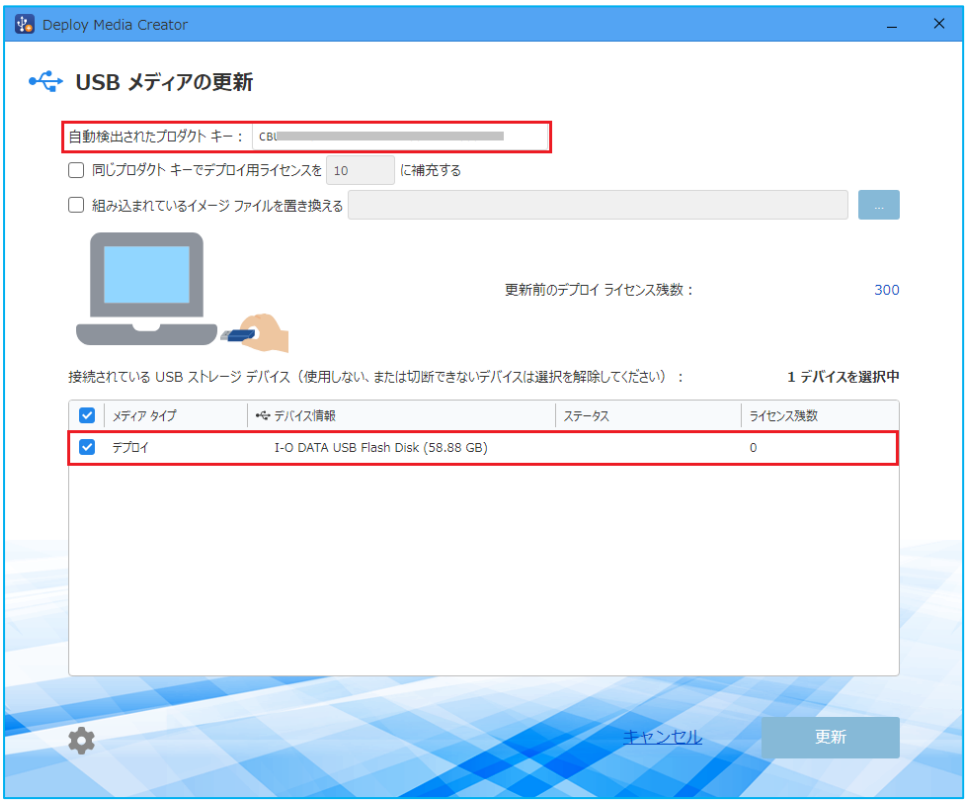
例えば、50 ライセンス割当てられたデプロイ用 USB メディアを使用して、50 台のクライアント PC のデプロイ作業をおこなった場合は、50 ライセンス消費され残りライセンスは 0 となります。更に、このデプロイ用 USB メディアを使用してデプロイ作業をおこなうには、ライセンスを追加する必要があります。

ここでは、デプロイ用 USB メディアへのライセンスの追加手順を説明しています。

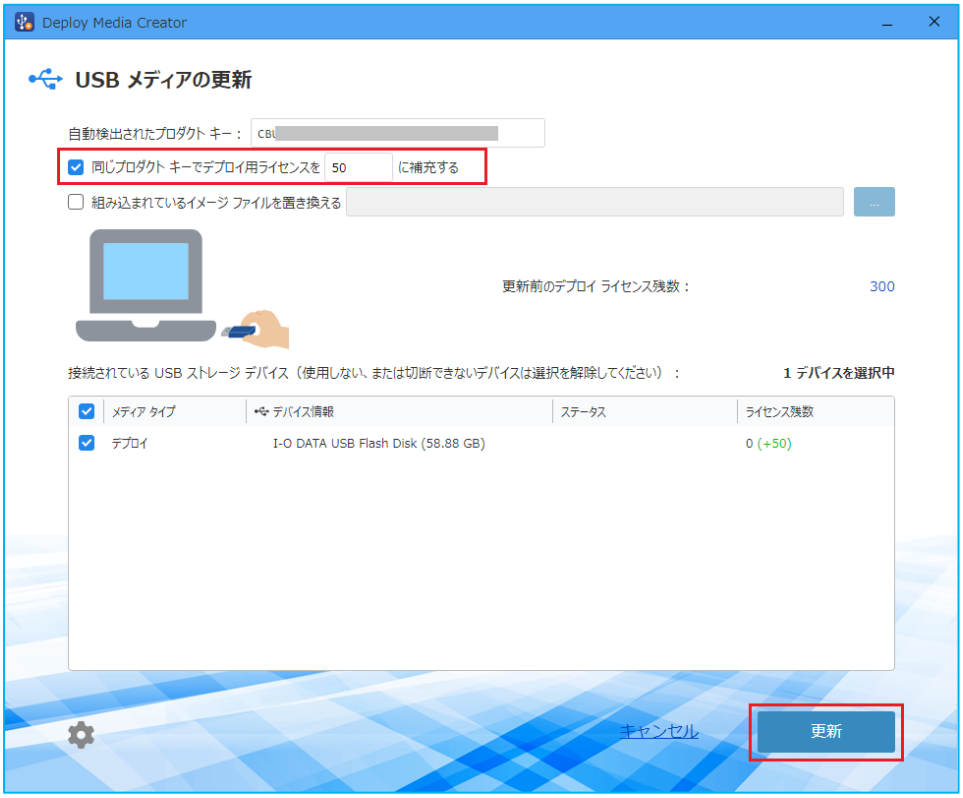
1. Deploy Media Creator のコンソールから、[USB メディアの更新]をクリックします。



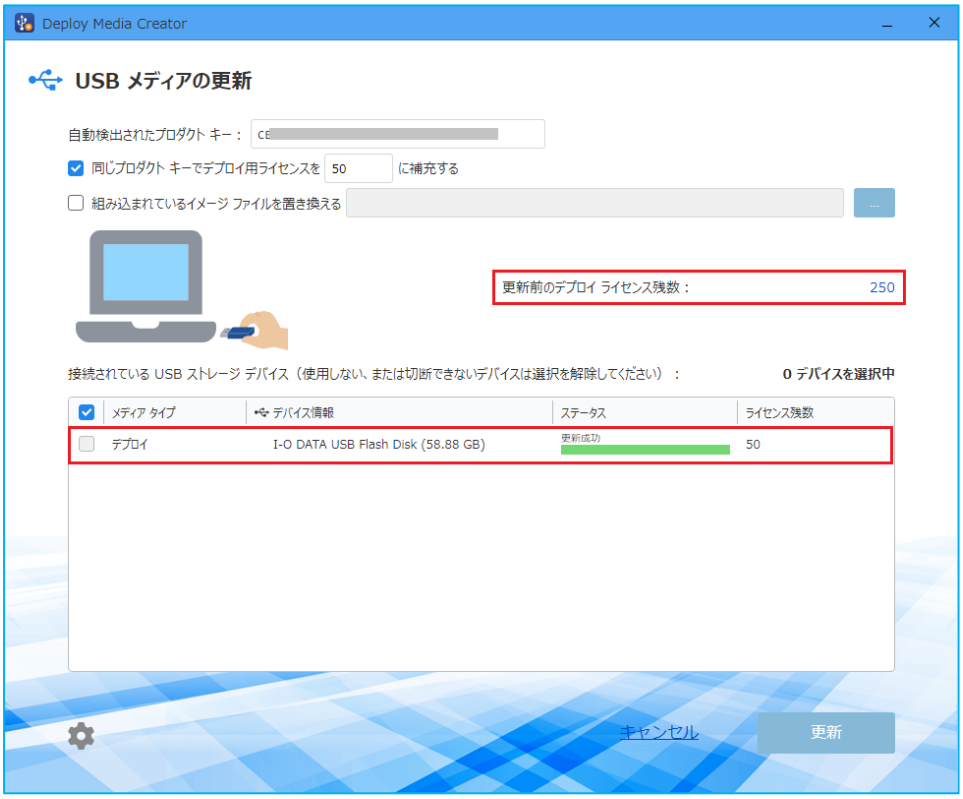
2. ライセンスを追加する「デプロイ用 USB メディア」を接続し、接続したデプロイ用 USB メディアを選択します。割り当てられているライセンス数やライセンス追加に使用するプロダクトキーの情報が表示されます。



3. [同じプロダクトキーでデプロイ用ライセンスを[xx]に補充する]にチェックを入れ、追加するライセンス数を設定します。次に、[更新]をクリックすると、デプロイ用 USB メディアにライセンスが追加されます。



4. ステータスが[更新成功]と表示されたら、デプロイ USB メディアへのライセンスの追加は完了です。この時点で所有ライセンスは、50 ライセンス消費されます。



9-2. マスターイメージの保管

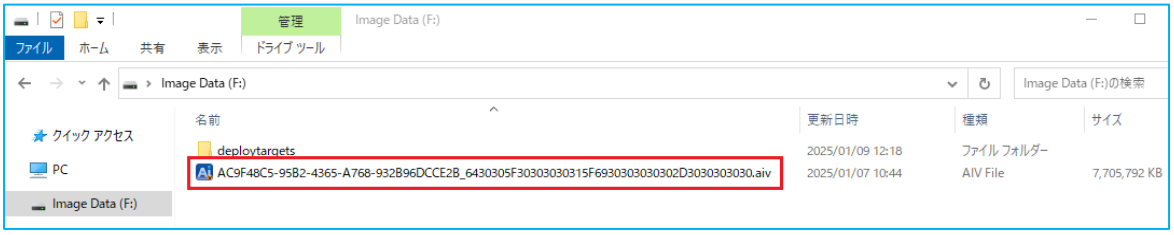
デプロイ用 USB メディアで取得したマスターイメージは、万が一のメディアの破損などによる消失を考慮して、別な場所に複製して保存することを推奨します。これは、デプロイ用 USB メディアのマスターイメージの差し替え、マスターイメージを組み込んだデプロイ用 USB メディアの作成時にも使用できます。

ここでは、デプロイ用 USB メディアに格納されている、マスターイメージの保存方法について説明しています。

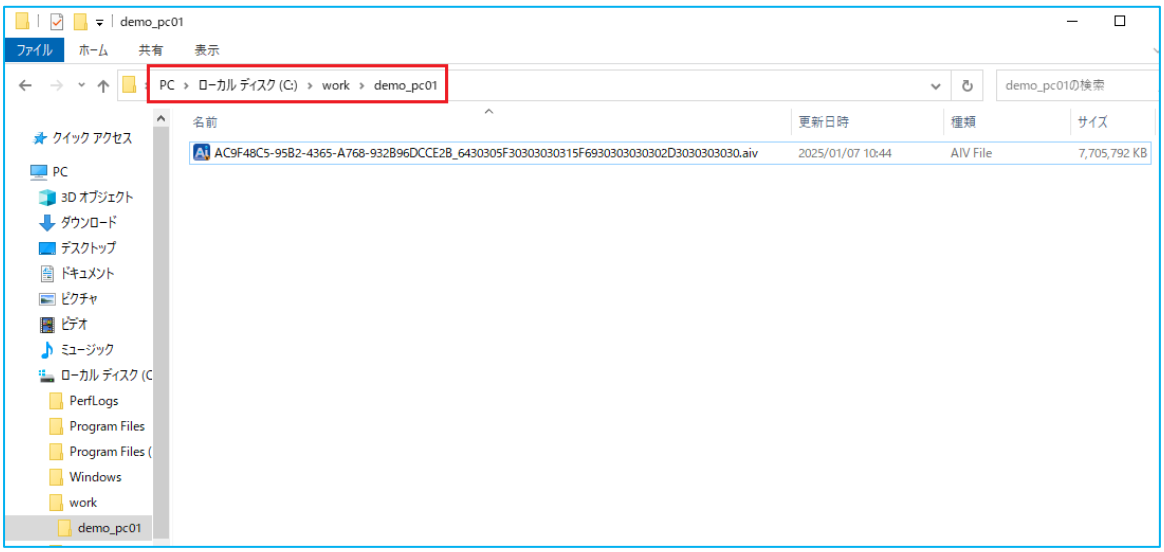
1. マスターイメージの格納場所
   デプロイ用 USB メディアで取得したマスターイメージは、デプロイ用 USB メディアの 2 番目のボリューム内（Image Data）に格納されています。



   マスターイメージは、「.aiv」という拡張子がついたユニークなファイル名になっています。



2. マスターイメージの複製
   マスターイメージは、セキュリティーの観点からユニークなファイル名になっていますので、コピー先は、識別しやすいフォルダー名で作成すると管理が容易になります。ここでは、作成した「c:¥work¥demo_pc01」のフォルダー内に複製して保存しています。



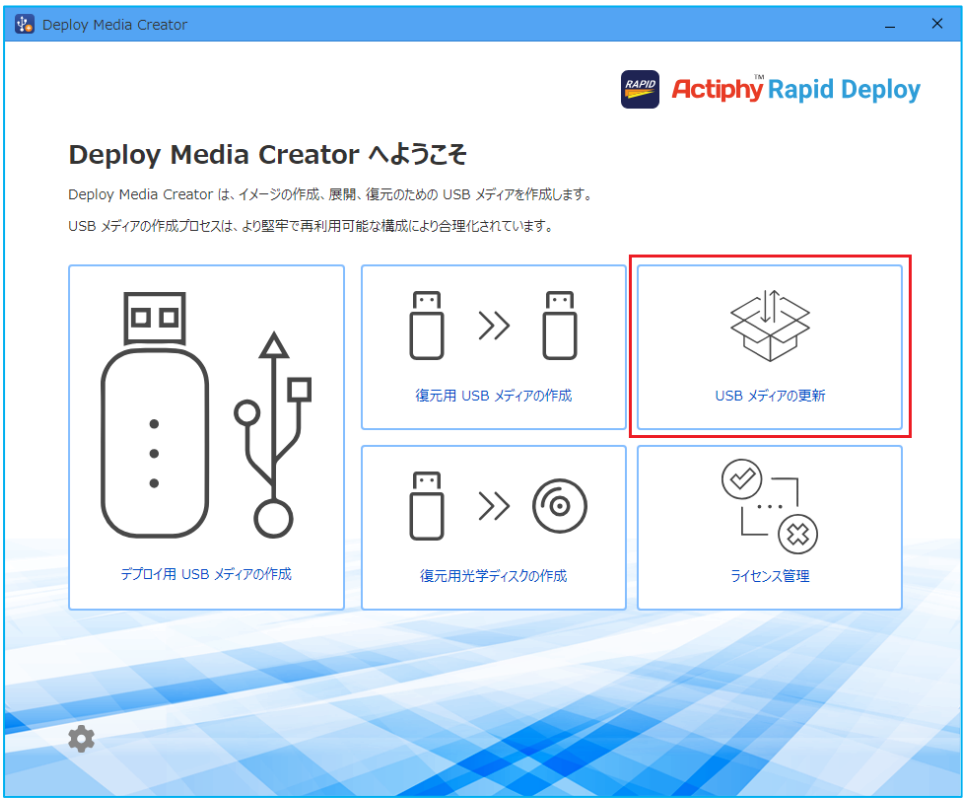
9-3. マスターイメージの差し替え

デプロイ用 USB メディアのライセンスを保持したまま、マスターイメージを差し替えてデプロイ作業をおこなうことができます。

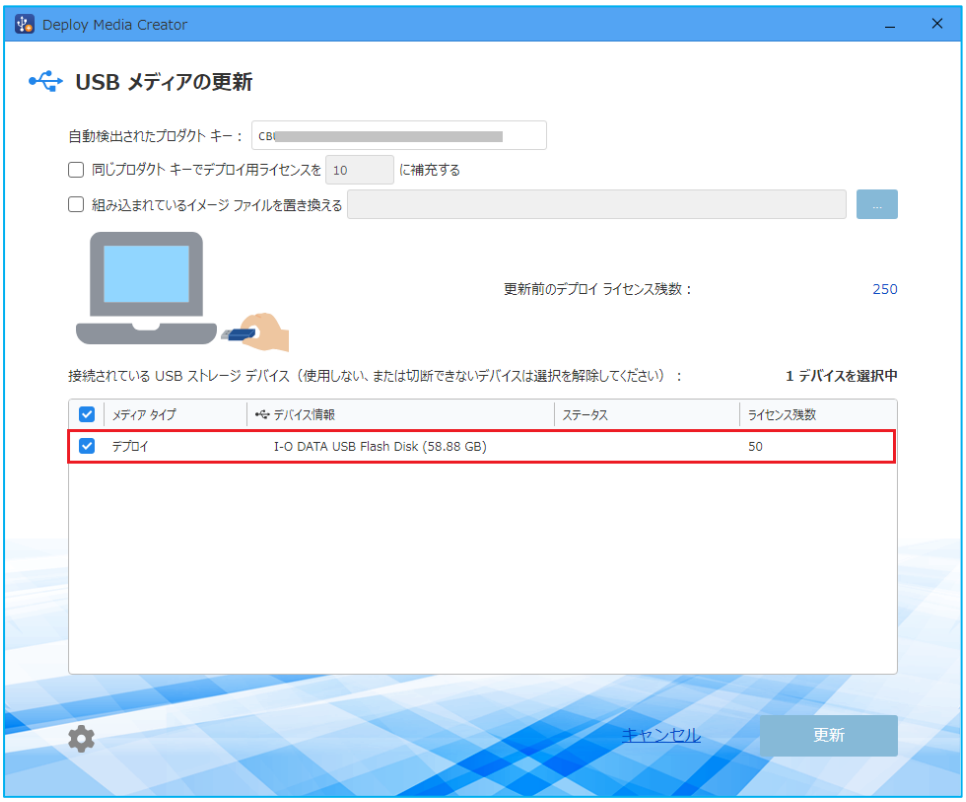
ここでは、デプロイ用 USB メディア内のマスターイメージの差し替え手順を説明しています。

※ 差し替えるマスターイメージについては、「9.2. マスターイメージの保管」を参照してください。

1. Deploy Media Creator のコンソールから、[USB メディアの更新]をクリックします。



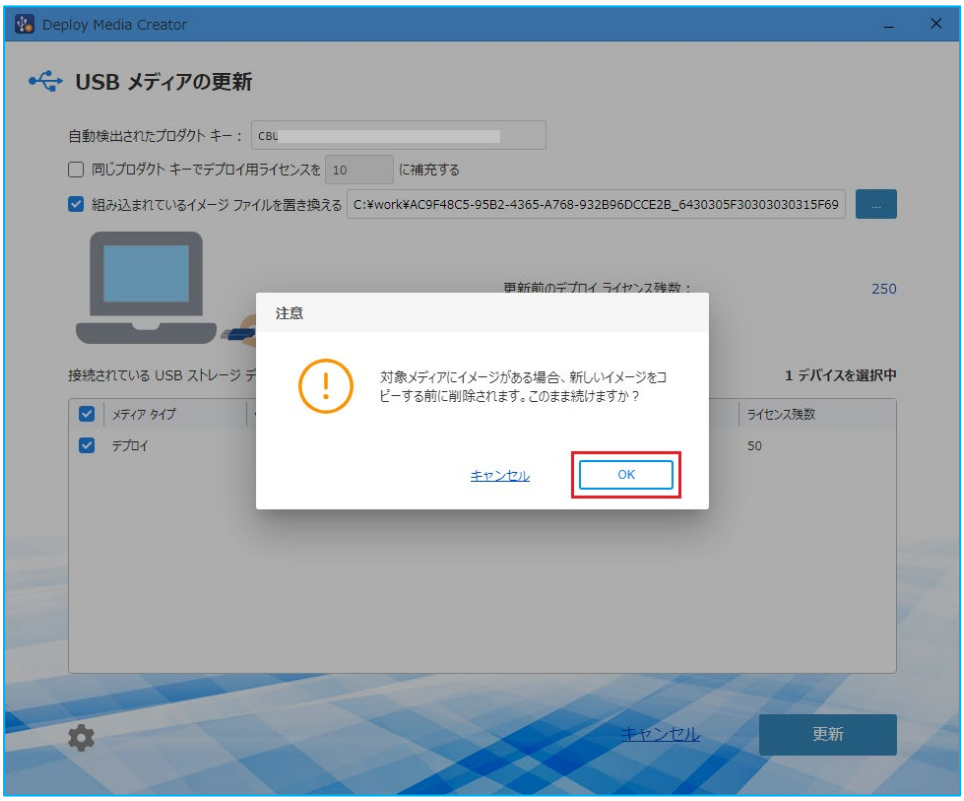
2. マスターイメージを差し替えるデプロイ用 USB メディアを接続し、接続したデプロイ用 USB メディアを選択します。



3. [組み込まれているイメージファイルを差し替える]にチェックを入れ、差替えるマスターイメージのファイルを選択します。



4. マスターイメージの選択後に、[更新]をクリックすると確認画面が表示されます。
   問題なければ[OK]をクリックすると、マスターイメージの差し替え処理が開始されます。



5. マスターイメージの差し替えが開始されると、進捗状況が表示されます。



6. ステータスが[更新成功]と表示されたら、マスターイメージの差し替えは完了です。



9-4. 複数のデプロイ USB メディアの作成

ここでは、マスターイメージを組み込んだ複数のデプロイ USB メディア作成のポイントについて説明しています。

デプロイ用 USB メディアの作成手順は、「4. デプロイ USB メディアの作成」を参照してください。また、組み込むマスターイメージについては、「9.2. マスターイメージの保管」を参照してください。

1. デプロイ用 USB メディアにマスターイメージの組込み

   マスターイメージを組み込んだデプロイ用 USB メモリを作成する場合は、「Deploy Media Creator」から[この USB メディアに既存の“デプロイ用イメージ”を組み込む]にチェックを入れ、組み込むマスターイメージを選択して作成します。



2. [1 メディアあたりのライセンス数：]は、作成する 1 本あたりのデプロイ USB メディアに割り当てるライセンス数となります。例えば、[1 メディアあたりのライセンス数：]を 5 として、10 本のデプロイ USB メディアを作成した場合、使用ライセンス総数は 50 となります。



3. 複数の USB メデァイを接続して、同時に作成することができます。最大 30 個の USB メディアに、同時に作成することが可能です。



10.参考情報

アクティファイの Web サイト

製品情報の他、各種資料やサポート情報、アップデートなど、総合的にご案内しています。

https://www.actiphy.com

ActiveImage Protector の FAQ

サポート情報のデータベースです。

https://actiphyhelp.zendesk.com/hc/ja/sections/13451048765081

ActiveImage Protector に関するお問い合わせ先：

株式会社 アクティファイ

営業本部

E-mail:sales@actiphy.com

TEL: 03-5256-0877

FAX: 03-5256-0878

© 2025 Actiphy, Inc. 無断複写・転載を禁止します。

本ソフトウェアと付属ドキュメントは株式会社アクティファイに所有権および著作権があります

本ガイド中のその他のブランド名及び製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。